創刊明治卅五年三月廿七日●明治卅五年三月廿七日第三種郵便物認可●毎月二回(一日十五日)發行●電話番町千七百五十番●同五百廿番●郵送無料●振替貯金口座東京壹壹弐二番

愛國婦人

●定價一部三錢五厘●半年分金四十二錢●一年分金八十四錢●廣告料一行金六十錢●發行所東京麹町區牛ヶ淵公園内愛國婦人發行所●發行兼印刷人山澤俊夫●編輯人竹内貞三

明治四十四年五月十五日發行　MAy 15. 1911.

愛國婦人會第十回總會に對し

皇后陛下より賜はりたる御令旨

本日愛國婦人會の總會に臨み益〻會員の增加するを見るを喜ぶ

奉答

愛國婦人會は創業以來既に十年を經忠愛なる會員の協贊を得て益〻隆盛に向へり是れ全く至仁至慈なる陛下の殊恩に由らずんば非ず茲に第十回會員總會を開くに方り畏くも陛下の親臨を辱ふし優渥なる令旨を賜ふ本會の光榮何を以てか之に加へん伏して惟みるに陛下夙に癈兵遺族の救護に軫念あらせられ眷護の厚き 智惠子等 感激の至りに堪へず自今一層奮勵懿旨に副ひ奉らんことを謹みて奉答す

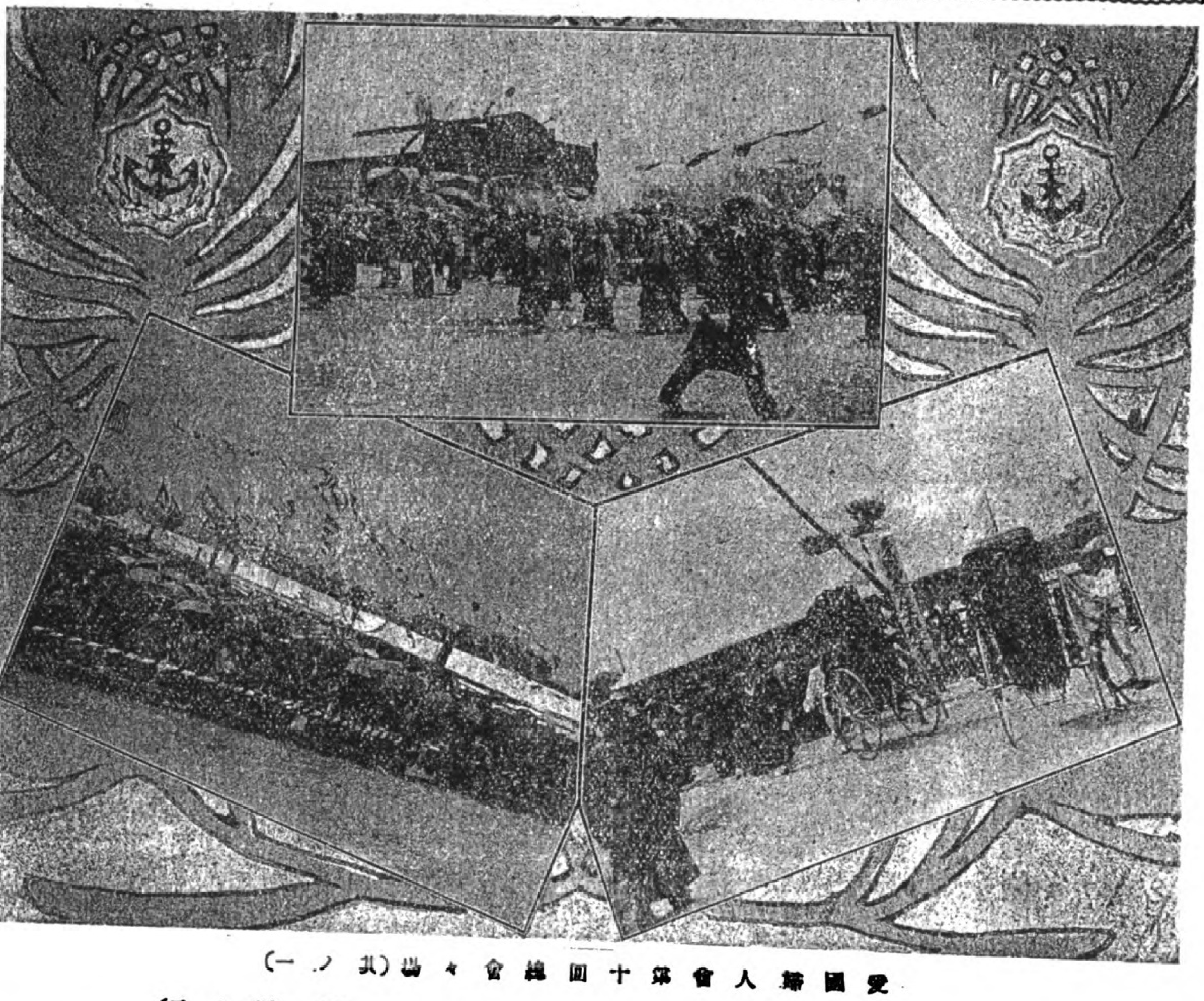
明治四十四年五月九日

愛國婦人會總裁

載仁親王妃智惠子

愛國婦人會第十回總會

茲年明治四十四年五月九日、春深く、綠の葉かげ色いよ〳〵濃やかに、薫風そよ吹く日比谷公園内に於て、わが愛國婦人會第十回會員總會は、畏くも皇后陛下御親臨、總裁宮殿下並に名譽會員伏見宮妃殿下御台臨の光榮を得て開催せられたり。



愛國婦人會第十回總會々場（其ノ一）

同（其ノ二）

同（其ノ三）

午前十時半、豫定の如く第一鈴の響高く開場を告ぐるや、園内に滿ち〳〵たる約二萬の會衆は、各指定の場所に着き靜肅に開會を待つ、しばらくありて洋々たる奏樂の裡 皇后陛下には高倉典侍御陪乘、香川皇后宮大夫其の他供奉の方々を隨へさせられ、御馬車にて着御あり、御先着の總裁宮殿下の御案内にて便殿に入らせ給ひ、御少憩の間、會長、副會長以下理事、評議員、支部長等に拜謁を給はり、かくて午前十一時となり、會長は副會長と共に式場正面に出で、徐に開會の旨を宣告され、續いて評議員の選擧に移り、現在の評議員は全部其の儘に留任とし、尚三十一名の補缺員詮衡の爲め、委員三名を會長指名せらるゝ事、並に次期の總會迄の補缺選擧は、會長に一任する事との動議起り、定數の贊成あるを以て、會長は有島、古市、仁杉の三評議員を委員に指名され、三委員は直に合議の結果、別項記載の如く推選さる、依て會長之を會員へ報告せられたり。軈て皇后陛下には、會長の御先導にて、兩殿下並に奉供の方々を隨へさせられ、玉歩を式場一段高き玉座に運ばせ給ひ、南面して御椅子の前に立たせられ、玉音朗かに御令旨を給はる、終らせ給ふや、總裁殿下恭しく御前に進みて御令旨を拜受し、續いて奉答文を朗讀し奉り給ひぬ、次に副會長の會務並に會計報告あり、而して會長閉會を宣すれば陛下には恐れ多くも會員一同へ輕く御會釋を給はりて、再び便殿に入御あり、暫時御休憩の後、御機嫌麗はしく還啓遊ばされ、續いて一同退散したり。

本號主要目次

▲皇后陛下御令旨……
▲總裁殿下奉答文……
▲愛國婦人會第十回總會……
▲商家の婦人(中)……農商務省商務局長 大久保利武
▲獨逸バーデン國婦人協會の事業(上)……法學博士 井上友一
▲婦人運動の巧拙、附貧民救濟と看護婦配置(上)……法學博士 小河滋次郎
▲婦人と神經衰弱(下)……醫學博士 土田卯三郎
▲敎育に關する勅語奉釋(八)…… 秦政二郎
▲人の頭を一見してその性質を知る法……
▲家庭茶ばなし…… 夏子
▲應募和歌俳句 ▲愛國婦人會記事二頁外に特別附錄として愛國婦人會第十回總會報告記事二頁を添ふ

◉本號(附錄共)十四ページ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

商家の婦人（中）

農商務省商務局長　大久保利武

▲勤勉なる家風を造れ

第三は勤勉である。商人に勤勉の必要なる事は勿論であるが、所謂稼に追ひ着く貧棒無しで、如何なる商業如何なる困難でも、之れに打勝つ敵はありません。西洋の諺にも『自分の汗でパンを喰へ』と云ふ事があります。

通り懸りに一寸商店に入つても、店中皆擧つて勉强し活動して居るのは、實に其店に一種の光彩を添ふるもので、繁昌もする、見ても實に心持が好ひ、客も自然其店に足を向ける、自然物品にも信用を置くことになるものです。彼の鹽原太助の話にもある、一小農家の兒から終身稼ぎ働き通して遂に身を立て家を起し、東京深川で屈指の資産を作つた太助が、結婚の夜、船で炭か着いた、すると太助は衣裳を附けたまゝ花嫁と共に大に炭俵を運んだと云ふ美談がありますが、商人には常に此心懸けが肝要であります。斯くて、世の中の萬事に勤勉と云ふ事が、何商業に由らず缺く可らざる成功の要件であるけれども、商業程覿面に其の効果が顯はれるものは有りません。此の勤勉の家風も婦人が常に自ら率先ち、之を造るやうに注意せねばならぬのであります。

▲買客の利益は商人の利益

第四は客の利益を大切にする事で、必竟商人は自己の利益を圖つて産を起すのが當然でありますが、唯自己の利益と云ふことのみに眼が眩れて、往々買客を粗末にするとか、物品を粗惡にして不當の利益を貪るといふことが有り勝ちであつて結局之が商賣の衰頽を來す基となることがあります。故に、商人は買客を親切に待遇し其の利益を大切にすると云ふ事を商賣の根本として決して忘れてはなりません。一寸考へては買客の利益と商人の利益とは矛盾するやうにも考へられますがよく〳〵考へると、買客の利益を忘れぬと云ふことが其の店の利益となるものであつて、其の間に決して矛盾も衝突もありませぬ。

▲誠の競爭と榮太樓の美談

又競爭と云ふことは商家の恒であつて決して惡いことではありませんが、然し夫れが爲めに次第に値段を下げるに隨つて往々品質を惡くする事があり、或は競爭相手の店の惡いことを棒大に吹聽したり一時買客を眩着して惡い物品を買り付けると云ふやうな事があります。誠の競爭と云ふのは、不可的他の店より質素に勤勉で、可及的他の店より費用を省き相違の無い物品を賣つて餘計に買客の滿足を買ふことであります。競爭が盛なれば盛なる程、他の店より律義に立働き質素に商賣して第一に買客の利益を圖ると云ふことが、其店の繁榮を維持する基となります。日本橋の老舗榮太樓に左記のやうな美談があります。

或時榮太樓に一人の田舍者らしいお婆さんが、五十錢の商品切手を持つて菓子に引換へに來ました。ところが其の切手の使用期限が過ぎて居りましたので番頭が其の事を言つて菓子を渡さずに歸しました。すると後から主婦が之を聞いて、番頭にあと追ひかけさして、お婆さんを呼び返し、『貴下が私の店を忘れず、御來店になつたのは誠に難有い、此の切手は期限が切れて居りますが、私の店を忘れずに御來店被下つた御志の難有さに菓子を呈げる事に致します。どうぞ爾後ともに宜敷く御最屓を願ひます』と懇切に待遇して歸しました。（つゞく）

夏は又冬がましやと言はれけり　（鬼貫）

人來たら蛙になれよ冷し瓜　（一茶）

獨逸バーデン婦人協會の事業（上）

法學博士　井上友一

▲世界の模範的婦人會

▲平時に於ける大活動

公共の慈惠救濟事業は、婦人の協力を待つにあらずんば、其目的を達することが難い。それ故慈惠救濟の事業を研究せんとする者は、各種婦人協會の著明なる事業に注目爲なければならぬ。獨逸國のバーデン婦人協會設立の動機は、一千八百五十九年に於ける伊太利戰爭にあつて此の戰爭に於ける戰時救護の事業を行はんが爲めに、バーデン國大公妃ルイーゼの令旨を奉戴して、創立を見るに至りたるものである。次で戰爭は終了たけれども、協會は尙之れを繼續して、平時に在りては慈惠救濟の事業を經營するを以て目的とする事となした。爾來事業の發展著しく、一千八百六十六年の普墺戰爭及び一千八百七十年の普佛戰爭などの時に當つては、能く救護後援の事功を擧げ平時に在りては各般の慈惠救濟に關する事業を經營し近時に至りては、益々其の會運の隆盛を致し、猶將來發達の機運も熟して居る。總裁としては大公妃を推戴し、貴夫人令孃等擧て協會の事業に從事される。今我國に於て此種の事業を經營し或は新に經營せんとする人々の參考の爲めに、此協會の經營に係る社會的、公共的慈惠救濟の事業の狀態に就き大體を述べて見やう

（一）公開講演、時々大學教授其の他學者實驗家を招聘して、婦人に對する公開講演を開き、一千九百一年以來は、茶話會なるものを折々に開催して、學者の講演を開いて居る。

（二）手工の教育奬勵、バーデン公國を通じて婦人の家庭的手工を奬勵し、小講習所を國內到る處に設け、之を奬勵する爲めに、勤勉にして成績優等なる講習生には『神と共に』と題したる小祈禱書を與へる。又屢々國內各地に手工產物の展覽會を開催し、大公妃が常に親しく之に出席せられるさうである。婦女子の家庭的手工として、此國には從來紡績手工（絲繰り）が一般に行はれ居つたが、機械紡績業の發達と共に、之が爲めに壓倒さるゝ傾向となつたので、婦人協會は此の家庭手工業を再興するを以て、風敎上殊に緊要なる事とし、之が奬勵を怠らず、前述の如く紡績手工の講習會を開き、勤勉なる講習生に賞與を與へ、又成績品の展覽會を開くなど、其の盡す所多だ尠くないのである。

（三）家政教育の奬勵、家政學校、巡回料理講習會、家政教育等の勸奬も、亦此の協會の稱讃すべき事業の一であつて、各地に家政及び料理學校を設け、屢々家政講習會を開いて居る。又補習學校をして家政を其の義務科の中に加へしめ、或は市をして家政教育練習所を設立するに至らしめたるが如きは、其の効果に歸せねばならぬ。此外協會では各地に巡回料理講習會を開いて居る。

（四）下婢の表彰、一千八百七十六年、始めて大公妃ルイーゼの令旨に基き、永年勤續して忠實精勤なる下婢を表彰して以來、婦人協會の事業の一として行はる所であつて、二十五年以上勤續し、操行方正他の模範とすべきものには銀製の十字牌を、四十年以上勤續せる者には銀製金メッキのものを、五十年以上勤續せるものには同上花飾を附したるものを賞與する事として居る。斯くて此下婢表彰の効果は最も著明く顯はれて、勤勉忠實の良下婢の家族と生命を共にする者が益々多きを加ふるに至つたと云はれて居る（續）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

歐洲婦人運動の巧拙

（附）貧民救濟と看護婦配置

法學博士　小河滋次郎

▲南北歐洲婦人の運動振り

北歐洲に一大半島を成して突出し、スウエデン、ノールウエの兩國に分たれて居るスカンヂナウヰア半島の人民は、一般に公德心が深く、慈惠心に富み、貧民救濟事業の如き愈盛んであるが、此地の婦人の地位は亦着々向上發展して他の歐洲諸國の婦人よりも、社會上に一層優勝の地歩を占めて居る、其の原因は此國の婦人の運動方法の巧妙に在るのであるが今我國婦人の參考の爲めに、歐洲南北婦人の運動振りに就て少しく述べて見やう。

凡て歐洲に於ける婦人の運動振りが、南と北とでは各差別があり、巧拙がある南方の諸國、即ち英佛獨等の婦人の運動振りは米國式で、婦人が自ら表面に立ち働きて、旗鼓堂々と權利を要求し、反對者を攻撃し、時には大臣を要撃して暴力に訴へるが如き、常軌を逸せる過激な行動に出づる事もあり、眞個お轉婆式の運動であつて、外見上は如何にも華々しいものがあるが、其の割合に成功する事は尠く、結果は唯徒らに男子の反抗心を高め、人望を失ひ、一般人民の嫌惡を買ふに過きぬ有樣である、北方の國に於ける婦人運動は之れと反對に、非常に巧妙であつて、已にスウエデンに於ては婦人も亦男子と同じく參政權を與へられ、議會に列する事を得る迄に成功し、婦人運動は常に自己の求むる處、或は夫れ以上の効果を得つゝあるが、其の運動方法は、と云ふと、南方諸國の婦人の如く、自ら表面に立ち現はれる事を不爲、運動の必要ある場合には、必らず知名なる男子を表面に押し立てゝ其の衝に當らしめ、婦人は其の影に隱れ内部に於て運動を怠らぬのである、そこで此の運動が萬一失敗しても、男子の反感を惹起す事も尠ければ、又成功する事が多いのである、或人は「スウエデンに於ける婦人運動は婦人の運動では無くて全然男子の運動の如くに見える」と云つて居る。

即ち、北國の婦人は巧みに男子を利用して、常に其の運動に成功し、着々自己の權利を進め主張を達しつゝあり、南國の婦人は、自ら其の衝に立つて、男子を利用するの優れるを知らず、常に失敗を招きつゝある所以である。

斯の如きは、我國に於ける婦人の活動上にも大に參考となるべきことであるが要するに南國の拙に倣はず、北國婦人の巧妙なる運動振りに倣はれん事を希望するのである。

▲貧民救濟事業と看護婦の利用

又スウエデン、ノールウエ等に於ては貧民施藥救濟の一方法として、看護婦配置の手段を採つて居り、現に顯着しき効果を表はして居るのである、我國に於ても、先頃畏くも皇室より貧民施藥救療の思召を以て御内帑金を御下賜相成り今後此事業は益々發展進歩するの機運に向つて居るが、此の事業に就ては、徒らに形式のみに拘泥して、其の形式を如何にすべきかに苦心するよりも、内容を如何にすべきかに苦心せねばならぬ、形式は少しく講究すれば直ちに出來もしやう如何に立派に形式が出來たとしても、如何に活動すべきかに就て研究せねば、誠の効果は擧らねであらう。

現在、東京には貧民施藥を目的とする慈善病院が二三にして止まらず、其の組織と云ひ、設備と云ひ誠に立派なものかあるが、併し其の實際は徒らに形式にのみ走せて、誠の貧民の施療を乞ふ者は尠く、眞の効果は擧らぬと云ふやうな狀態である。

斯の病院建設の事が、果して貧民救濟の爲めに適當なる方法であるかは大に考究せねばならぬ處である。無論其の局に當るに人を選ぶ事も必要であるが、病院以外に、眞個に此の目的を全ふするに適當なる術はないのであらうか。

殊に都府と地方とは、各其の狀態を異にし都府では或は病院の必要があるかも知れぬが地方では寒村僻地の到る所に病院を設くる事が、先づ第一に不可能であり、又よし病院を設くる事が出來たとしても、其の病院に誠の貧民が施療を乞ひに來るか如何かは大に疑問であつて、今日迄の經驗に由れば、費用のみ徒らに増加して、其効果は割合に擧らぬのであらうと思ふのである。

夫れよりも、予の信ずる處では、寧ろ地方に相當の素養ある看護婦を配置し、我國の駐在巡査の如く各村に駐在せしむる事が可いのである。以下少しく其の方法並に夫れより生ずる効果等に就て述べんとするのである。（つゞく）

婦人と神經衰弱（下）

醫學博士　土田卯三郎

▲神經衰弱豫防の必要條件

▲神經衰弱病の十中九は飮酒の罪

さて神經衰弱やヒステリーを豫防する爲めに必要なる條件を一一詳細に列擧する事は避けまして茲に約言ますと適當な運動は是非共必要であり、それから適當なる安眠が肝要であります、安眠の時間は約七時間を適當としますが目覺めたらば直に起床するやうにせねばなりません、目覺めて後も尚床の中に居ると種々と物事を考へ勝になるので宜しくないのであります。

又寢前に甚だしく空腹を感ずるやうでも宜しくありませんが、又寢前の間食は安眠を害するものでありますから、成る可く取らないやう注意せねばなりません

特に神經衰弱の動かすべからざる大原因として大に世人の覺醒を促したいのは飮酒の害であります。酒を飮むことが自己の身體に宜しくないことは云ふまでもありませんが、獨り自己のみでは無く子孫にまでも其害が及び誠に恐るべきものでありまして、私が今日まで接し來つた神經病者の十分の一は花柳病に原因し、他の九分は皆悉く親の飮酒に原因するものでありました、

又世間には小兒の可愛さに盲目となり理性の判斷を誤つて、晩酌の折りなどに小兒に杯を受けさせ、小兒が無意識に酒を飮む有樣を見て、打笑ひ相樂む親も往々ありますが、之は實に間違の甚だしいもので、夫れが爲めに、人一倍に可愛いゝ自己の小兒に、神經衰弱を起させ、其の將來を誤らせ、今は非常の後悔し煩悶して居る親御も有ります、

此の飮酒の害と云ふ事は是非稚い時から小兒の心に深く染み込ませて置きたいので私の希望としては小學校の敎科書中に飮酒の害の恐るべきことを掲げて廣く全國の兒童に說き示して貰ひたいのでありますが、今日のところ此の希望は達せらるべくもありませんので、せめては各家庭に於て、母親から其の威嚴と慈愛とを以て、よく其害を說き敎へ、飮酒を戒められん事を切に希望するのであります。

尚一歩を進めて、若し夫に飮酒の癖があらば、其の癖を直すのは實に至難の業ではありませうが、機會ある毎に其の害を說き夫を諫めて飮酒を止めしめ、夫と共に愛する自己の子孫をして此の害から免かれしめるやう心懸けて貰ひたいのであります。（了）

治療せられんと願ふは治療の一部なり　セネカ

孤事を行へ然らば地球は玻璃と成らん　エマルソン

心術茲に正大なれば茲に眞個の愛國心存す　ボルゲリー

凱旋サイダー

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

教育に關する勅語（八）

秦政二郎謹解

●兄弟ニ友ニ●と仰せられたのは兄弟姉妹は一つ幹から出た枝のやうな者で父母の分身であるから兩親に次で親愛い情の厚い筈ぢやに依つて弟妹は兄姉を親の如く敬重にし兄姉は弟妹を親の遺して托かされたものと思うて愛撫り何事も克く一致して共同にせねばなりませぬ。

又兩親は子女が幾人あつても情愛は同一事で家の四本柱とも思ふ同胞の友愛の厚いのを喜ぶことは千萬の味方を得たよりも尚ほ心强く感ずる代りに其れが妻を娶つたり嫁に歸つたりして情交の闊くなるのを見ると自己の四肢を挘がれたよりも尚ほ心細く悲しむから同胞の變らぬ友愛は兩親へ孝行の一つにもなります、況して父母の亡い後は兄弟姉妹ほど力になる者がないから同胞互に友愛して家業を勵み完全な人物となつて社會の公益をも增進し立身成功をした時は國家の幸福でもあり、皇上への忠良でもあるに依つて斯様に、勅諭遊ばされた事であらうと付度ひ奉る。

それ故神武天皇は皇兄五瀨の尊を始め奉り御連枝至つて御友愛あらせられ、崇神天皇は長幼の序を國民に知らしめよと詔せられ、仁德天皇は皇弟菟道の尊との御交情睦まじく互に助け合はせられ、仁賢顯宗兩天皇は御餐をも一つに食され後村上天皇は吉野の宮から京の皇弟宗良親王に

めぐりあはんたのみぞしらぬ命だに
あらばとおもふ程のはかなさ

といふ御製を贈らせられた時親王からも

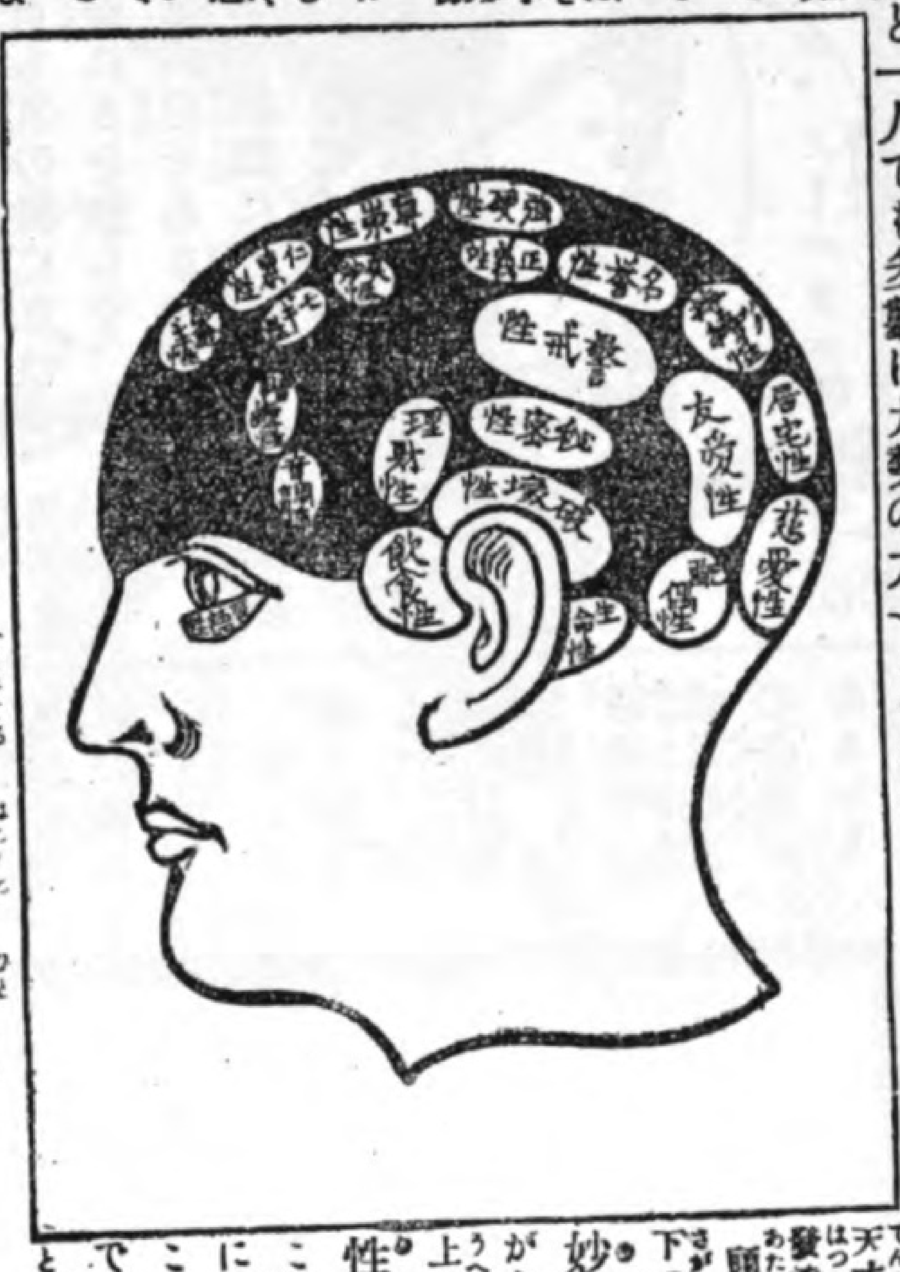
めぐりあはんたよりあるべき君が代に
ひとりおいぬる身をいかにせん

と御返歌遊ばされた事があります

臣下でも又同じ事で和氣淸麻呂は其の姉廣蟲と友愛睦まじく何かにつけても國家と社會との利益を同議しあひ、瓜生保等兄弟は母の戒に從つてよく其の心を戮はせ、吉川元春小早川隆景等は其の父元就の訓を守つて一致したから今に其の名を留めて吾人の良模範になつて居ります、元來世間の人事は何に限らず一人で成就る譯のものでなく二人よりは三人五人よりは十人と一人でも多數に大勢の力を合翕すと如何な大事業でも成立つ者であるが他人は利益になる事で無ければ協力をせぬ者が多いけれども兄弟姉妹は慾利づくを放れて共同にするものであります、其れを世間では兄弟姉妹は他人の始まりなどと以つての外の事をいふが是れは大誤謬で恰で旅の恥は受ずてにならぬといふのを受けずてにしても可いと誤傳つたやうに兄弟姉妹は他人にもあるといふ諺で同胞の大切な事は是れでも知られるでありませう、又男子は意志が强いから社會に出ての活動は激しい代りに細小かい人情には疎いけれども女子は柔順で温和しい天性であるから平常に男同胞の仲を和らげたり病氣の時に勞はつたり不幸の折には慰めたりして一家の調和を操る事が出來ます。

要之同胞は家庭の支柱であるに依つて一本でも曲れば外が危險くなつて家の倒れる原因になるから互に愼しみ戒しめて曲らず倒れぬやうに友愛せねばなりませぬ。

人の頭を一見して其の性質を知る法



▲言語性●●● 下瞼の發達して居る人は辯舌の達者な人です、演説の上手な人や雄辯家と云はれる人は皆此處が發達して居ます、その代りあまり此處ばかり發達するとお饒舌になります。

▲音調性●●● これは額の兩側にあります、音樂の天才は大抵此處が發達してゐます。

頭の上から少し下つた兩側に『靈妙性』(信仰性)があります、額の上の方に『鑑識性』があります、これは何れも文字に現はれた通りのことを司るものですが千里眼などと云ふのは此處が著しく發達した人です。

▲諧謔性●●● これは額の隅々にあります、此處の發達した人はオドケや頓智に長けた面白い性質の人です、此處の削げてゐる人は洒落も云へないごく眞面目くさつた人です。

▲壽骨と飲食性●●● 耳の後に生命性と云ふのがあります、之は俗に壽骨といつて人の生命を司るところです。此處の發達した人は長生きすると云はれて居ます、又耳の前に飲食性といふのがあります、これは生命に補助を與へるところでこゝの高く發達した人は御飯を澤山食べる人です、畢竟食物に對して感じの強い人で從つて味を見分ける事が上手です、料理人の名手などは皆此處が高くなつてゐます、此處は胃や齒や舌に連絡してゐます。

▲破壞性●●● 耳の上に破壞性と云ふのがあります、これも生命性や飲食性に關係の深いものです、此處は物を破壞することを司つてなります、從つて菜食のものは此處が發達して居ませんが生きものを取つて食物とするものはこゝが發達して居ます、例ば牛や馬の如き草などを食べて生きて居るものは此處が發達して居ませんが獅子や虎の如きは此處が能く發達してゐます、人間で云へば概して勇氣のある人はこゝが發達して居るのです。

その上の秘密性は謀を司るところでこゝの發達して居る人は掛引が上手です。

▲理財性●●● の發達してゐる人は貯金經濟に巧な人です、發達してゐない人は金錢に淡い人です、此處の非常に發達して居る人は吝嗇家です。

▲警戒性●●● 頭の横の角の骨のところに警戒性といふものがあります、此處の發達した人はごく注意深い人です、あまり高くなり過ぎてゐる人は無鐵砲な人です。

▲偶配性●●● 耳の後の方は配偶性と云ふのがあります、こゝの發達してゐる人は異性に對する愛情の強い人です、御婦人なら良人に對して愛情が深いのです、夫婦仲の好い鴛鴦はこゝがよく發達してゐます。

▲慈愛性●●● 頭の後にあるグリグリは慈愛性といひます、親子の情の厚いものは此處が發達して居ります、總てさういふ愛情を司つて居るところです、此處の高い子は親孝行ですし、此處の高い親は子煩惱です。ホトトギスと云ふ鳥のやうに子を生み放して少しも構はないやうなものはこゝがまるでありません、それから又實ひ子殺しなどをするやうな殘酷な人はこのグリグリが無くて削けたやうになつて居ります、此處は主に御婦人の方が發達していらつしやります。

▲居宅性●●● 之は愛國心の基となるもので自分の居宅即ち家を愛し故郷を愛し國を愛するものは此處が發達して居ります、外國へ行つて居る留學生などこゝの發達して居る人はよく懷鄕病に成ます

▲友愛性●●● その横に友愛性があります、こゝの發達してゐる人は社交が上手で、友を愛する人です、こゝの削げた人は冷酷な人です。

▲模擬性●●● もの眞似をする事の上手な者は皆こゝが高くなつて居ります。

▲持續性●●● の發達した人は辛抱強い人。

▲名譽性●●● の發達して居る人は自己の名譽に就て感じの強い人でこの人は他人の批評を大變に氣に懸けます。

▲强硬性、正義性●●● 眞心の働きの強いか弱いかはこの二つで分ります、凡て道德上のことを司るところです。▲尊崇性●●● もやはり道德宗教を司るところでこゝの發達した人は他人を尊敬します。

▲仁惠性●●● は文字の如く仁惠を司るところです この外澤山の性が分れて居ますが前述はホンの其の一部分です。

カメヤバー

奥様お嬢様方が銀座へお越しの節は是非新橋の龜屋の二階にあるカメヤ、バーにお休憩遊せ珈琲、紅茶、チヨコレート、平野水、炭酸水サイダー類からアイスクリームまで拾錢均一で御好みに應じます

善い品を賣て居る御披露に善い品を安値にして御試しを願ひます

京橋區竹川町
龜屋鶴五郎
電話新橋 特 七七二 七七三 七七四

家政の實驗談 育兒の實驗談 を募集致します、

家事方、洗濯の為方、漬物の漬け方、品物の保存法、子供の躾け方、子供の衣服の造り方、子守り歌、子供に讀ませる書籍の注意、其の他苟も家政と育兒に關し、有益と思は……際に御經驗の御話が承りたいのであります。文體は如何でも、唯判りさへすれば……端書でも封書でも差支ありません。續々御投書を祈ります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

桃（課題和歌）

文學博士 佐々木信綱先生選評

天　三河國幡豆郡旭村大字前有　岡部ひろ子

筒井筒振分髪の幼子がかたらひ遊ぶ桃咲ける宿

（評）伊勢物語の昔もしのばれてゆかし。

地　岩代河沼郡柳津　爲田よしの子

踊りなはよろしくといひて白酒にそひて給へる紅桃の花

（評）一二句平音なさながらよみいれたるおもしろし。

人　大阪安土町宮地方　北林琴枝子

色も香もなかりし野路のわたし場ももゝさきて歌によまむとぞ思ふ

（評）渡守の顔も紅にや見ゆらむ。

秀逸

風死してうす桃さける夕堤牛はひかれてかへる里の子　播磨　長田あき子

うまひこのひゝな祭りにそなへんと祖母がてうゑのもゝ咲にけり　岡山　西村長子

ちら〳〵と耕桃花咲く林より白帆すき見ゆ川添の里　京橋　宇佐見こま子

鐘の音しつかに村は暮れそめて十戸のわらや桃さかりなり　岩手　渡邊豊惠子

尋ね行く里の霞のひまもれてうす紅に見ゆる桃園　岡山　森島古野子

桃林くれなゐにほふ花陰をゆけはおもてる心地して　丹後　寺田とも子

白桃や泣きて別れしそのかみの人の俤浮ぶ袖がき　岩代　長谷川吉野子

三香の原いつみ川岸紅に水もゑふらん桃の花その　丹波　ひさ子

豊川のいなりまうでにゆかまほし桃の盛りになりにけるかな　豊橋　都築悦子

家のうちに人かげありてひめもゝはたゝ長閑にも咲てける哉　横濱　鈴木まつ子

佳作

實でにける桃の一枝妹の墓に手向けつ春の夕暮　富山　千葉東きく子

ひめもゝは今盛にてわかいほも長閑けくおもふけふかな　横濱　鈴木まつ子

三千年の昔の春はしられとも老せぬ色に桃さきにけり　尾張　吉田つう子

むぎはたやなのはたつゝくもゝそのゝわらやのおきなこのめになるなり　芝　藤の花

大空は霞なからにたそかれてひもゝの花に女神やとりぬ　三河　山内經子

もゝの宿小さき女化粧して雛生祭りの客待つらしも　麻布　濱　子

もゝの花一枝ゆるせひなまつりさゝけて祝ふ今日のよき日に　神奈川足立原　とく子

なつかしき遠山はたな見わたせば桃の林のうちかすみつゝ　美作　西村清子

夕日さすむかひの岡の桃の花こきくれなゐの色に見えける　備中　林　秀子

たとめ子が御酒くみかはしひなまつりかさしていはふもゝのはつ花　京都　難波眞久子

少女子か顔もてるまで見ゆるかなくれない匂ふもゝの下草　芝　土師利根子

物洗ふ少女か家か里川のなかれにそひて咲ける白桃　長崎　相部よし子

手洗ふ丸恕の川水くれなゐにいろとるはかり桃の花さく　赤坂　清水まつ子

赤き灯に障子にうつる我か影とかさりてそある白桃の影　越中　川崎政子

青柳のみとりへたてゝ一むらのもゝのはやしの花まかりなり　豊橋　平松いと子

むき畑の廣きかなたにかやふきののきはに咲けるもゝゆかしき　横濱　後閑らく子

休日をひれもす子等と戯れて歩こゝちする桃の下蔭　静岡　鈴木曉子

桃の花手折りてかへるをとめ子はこよひのゆめもひなかさるらん　岡山　宗木喜千代子

桃さくや老も若きもうちつれてにきはひまさる市川の里　麻布　志賀英子

流し守る翁一人はたゝすみて河岸紅くもゝの花さく　岩代　小川しん子

桃山に登りて見れはうつくしく春の靄生に花は笑ひぬ　岡山　樺水ますゐ子

のとかなる春の日かけにちる桃の花にむつるゝ蝶三つふたつ　山口　末田竹子

里の子が麥笛ふきて來かゝりし岸のかなたに桃さきにけり　同　末田貞節子

紅の色して霞の流れ來る里の耕桃は今盛りかや　富山　千葉東菊子

まつ折りて母のかさしにさしてみん三千とせふてふ桃の一と枝を　北海道　五十嵐とく子

俳句

鳴雪先生選

天　本郷　清香

築山の芝和らかに雀の子

地　兵庫縣湊町一、一四九　三畑たか子

ほの明き廊の空や春の雨

人　播磨國宍粟郡菅野村　長田あき子

日暮れて織りいそぐ機や雉子鳴く

佳作

花咲て出茶屋に里の小町かな　豊橋　都築悦子

新漁や蕭條として春の雨　岡山　森島古野子

村芝居幟長閑に見ゆる哉　同　人

はつかしき顔も包んで田植笠　青森　長谷川やゑ子

浮く龜の背にさす春の光り哉　播磨　長田あき子

花の戸を押は琴彈く人ありぬ　日本橋　大槻まさ子

花の雨女行者の笠を着て　備後　世羅龜子

どの川も皆山吹の流れ哉　同　人

湯風呂や小波照らす月も見て　兵庫　三畑たか子

晩風の止む時雉のほろゝ哉　同　人

かしこさの歴史も古りて山櫻　三河　岡部廣子

梅咲きて七村かすむ山邊哉　岡山　西村長子

家庭　茶ばなし

夏子

(一) 言葉の文

何の氣なしに用ふて居る言葉に、風俗習慣に關係の深いものが澤山あります。その善い例をひとつ申しますと『他人に笑はれます』といふ言葉であります。多くの母親が、兒童の惡い行ひを叱るときに『そんなことをすると他人に笑はれますよ』と申しますのが、我邦の習慣となつて居ります、そしてこの『他人から笑はれる』といふことが、兒童の惡行を止めるのに有力な言葉となつて居るので場合によると、打ち擲くよりも效能があります。日本國民が、恥を知り名を惜しむといふ美風を持つて居るのは、この樣な言葉の端にも現れてゐると思ひます。また惡い例を申しますと、父母が、娘の縁組を纏めてやることを『かたづける』と申します。『娘も年頃になりましたから早くかたづけ度いもので』とか『何某の令孃は誰某さんへおかたづきなさいました』とか云ふものは別に怪みもいたしませぬが、考へて見ると、女性はお荷物である、厄介なものである、といふ意味が含まれてゐますので、大切な婚嫁を、荷物をかたづけると同一にされてゐるわけであります。彼樣に考へて來ると、今の言葉には、餘程取捨すべきものがありますまいかと思はれます。

(二) 女の兒

お母さんがお客樣の御挨拶に出ます後から、六七歳ばかりのあどけない女の兒が伴ひて出て、『今日は』と頭をさげるませた應接振に、お客樣は、にこ〳〵しながら『まあ、いゝお行儀ですこと』といひつゝ手土産を出して『さあ、御褒美でございます』と差しだしました。お母樣が、繰返してお禮をのべてゐますと、女の兒は、お土産を兩手に持ちあげて、しさいらしく重量を試きつゝ『お母さま、お母さま！、全體幾千價値の品物でせう？』お母樣は、耳の根まで眞赤にして『まあ、この兒は！』お客樣は、しよさいなさうに『ほんにお兒さま方は！』覺えなくてもよいことを、いつの間にか兒童等は覺えてゐて、とんでも無いときに持ち出すものであります。

▲愛國文苑▼

◎和歌　坂正臣先生選　蚊遣火（六月十日締切）　水邊納涼（六月廿五日締切）

◎和歌　佐佐木信綱先生選　深夜杜鵑（五月十日締切）　雨中早苗（五月廿五日締切）

◎俳句　內藤鳴雪先生選　蛙（五月廿日締切）　卯の花（六月五日締切）

賞品　和歌＝天賞……日月帖一部　地、人賞…本會記念扇子一本宛

俳句＝天賞……上等繪葉書アツ〃　地、人賞…本會記念扇子一本宛

▲愛國文苑▼

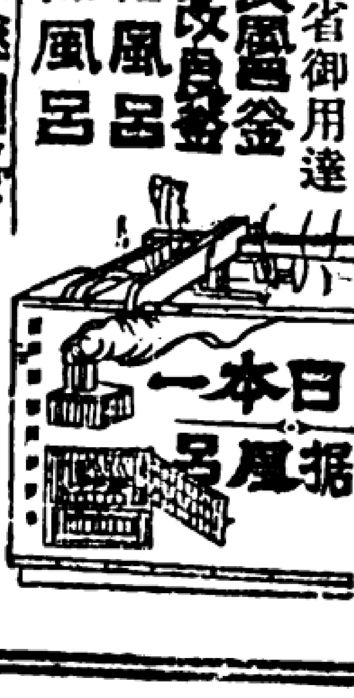
●南極探檢隊後援演藝會　三輪田、嘉悦、島田、栗塚、仁杉、岡部、鳩山、林田、鈴木其他數十名の貴婦人發起となり去る六日より三日間市村座にて慈善演藝會を催されたるが發起人が貴婦人達だけに婦人の來場者三分の二以上を占め場内は紅紫さまざまの裝ひに溢れ花よりも美しき外國人もぼつ〳〵見受け、三日間共に非常の盛況にてシドニーの空に再擧の腕を扼し居る白瀬中尉の一行が此の盛況を聞かばさぞや發起人諸氏に對し感謝の涙を濺ぐらんと思はれたり。

▲わきが患者の福音　わきが患者は普通醫藥等有ゆる手を盡しても容易に全治せざる病症なるが最近獨逸醫學界の泰斗ノート博士の發明にかゝる『フレード』は如何なる重症亦は慢性患者も全治すべきわきが根治劑なりと發賣元本郷區東片町十番地市原製劑所

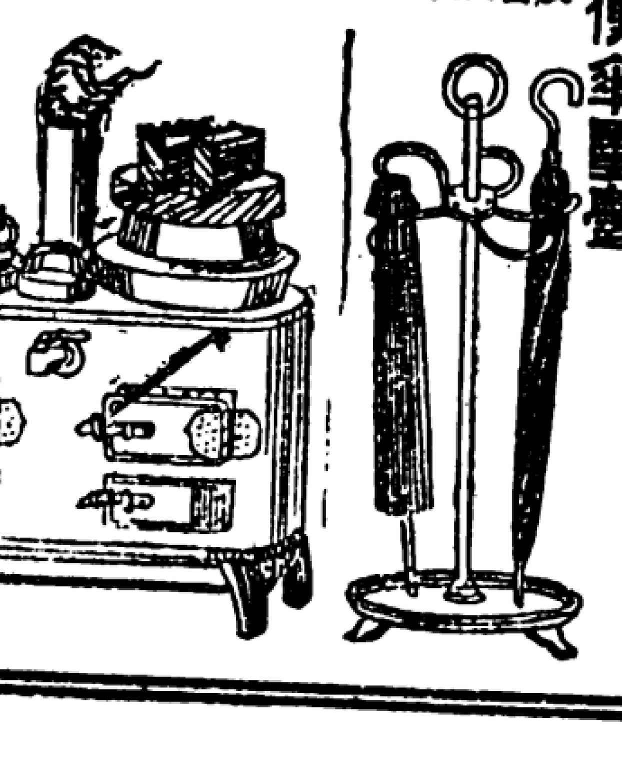
▲フランネルとセルジ　京橋區南傳馬町二丁目三木商店は毛織物專門店の老舖として世人の知らるゝ所なるが今回英國製新柄のフランネル、セルジ澤山陳列し非常なる廉價を以て販賣しつゝありと

凱旋サイダー

陸海軍諸官省御用達
鋼製改良風呂釜
湯壓用改良釜
檜製箱風呂
檜製桶風呂
日本一　据風呂



實用輕便傘置臺
傘置臺は鋼製にして木ジ留に仕込あれば取はづし自在雨傘洋傘ステツキ雨晴兩共使用出來極便利なり
總鋼鐵製
五種　用意各種出來あり圖面定價表御入用の方郵券二錢御送付あれ進呈す



發賣元　東京日本橋區通油町浪花一四六一　銅器問屋　石川商店

ちぢれもくせも
もはへうけあい
一大奇方
女髪結師安部歌子
本法は女史の多年實地研究したる秘法是迄一大奇法なり照會者は往復はがきにて申込あれ
東京麹町區三番町六七　小林濟世園

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

贈正五位野村望東尼序

野村望東尼は、この日の本のひらけゆくにしたがひていと、光をそへて其德をあふがるゝこそうれしけれ、文物ひらけし此大御代にてだに、なほ女の世の態、政事の上、公の事共は疎きものにすなるを、麻糸のみだれたる世の其のかみは、男子といへど是非に迷ひ、歸着する所をしらず。王朝の二方にふみ分れたる武藏鐙、なるればなれて德川のにごれる末もしらで過ぬる時にして、とく日の御光もかきくれし村雲をかき拂はむ、と心を盡して夫を助け、同志と謀り途に反對黨のために身は姫島に流竄されしを、高杉晋作の舊恩忘れぬ義俠の手に助けられて後ち、花浦の松の葉しろくおく霜の天命全く身を終ろまでの本末と、明治聖代の時をえて、贈位の譽も得つるなど實に女のみかは、大方の男子も及ばぬ心掟の人ならんかし。

まことや、この望東尼の身の光は幾世の末も消えずやあらむ、と思ふに、先づ其御手に二歳の折までいだかれ寵愛されし曾孫、鶴原定吉大人の夫人誠子君の貞淑のほまれたかきを、うべなりけりとうなづく人も多かめり、其鶴原家の長女は、同じ血統なる野村休太郎ぬしに嫁がれて、すでに御子を擧げたまへり、次女は教育家として朽ちぬ勳を殘し給ひし福澤翁の御子に嫁がれて、これもこのほど女の御子をまうけ給ひぬ、女の御子の中に一本たかき御子息はわかたけのまだよごゝろづかぬほどながら、千尋のかげもかれて見ゆべき心地ぞすなる、かくしげりそふ子孫の行末を苔の下にもさぞうれしと見たまふらんなど偲ばるゝに、先つ年鶴原大人の御たのみをうけて、暇なき暇をとめ、かきすさびつる此の傳記を、さきにはもとのしづくと題して、二卷にもしつるを今度讀やすきを主として、一卷に綴り、公にせむと思ひ來ぬ。

平らけく治まる御代のやすきになれて、ともすればあらぬ方にもすさび行らむ人の數へ帥にもなれかしとおもふものから、つたなき筆にかきしぶりていつかは今一度書きかへむ折も得ば、よく訂さまほしと思ひしものを、物にまぎれ事に追はれて、又も大方はなほざりにしぞ口惜しき、さこそはあれ、近くにこの望東尼の歌集、向陵集の中より佐々木信綱大人などの選り出で一卷とし、發刊せられんときくは亡人のためいさゝかは、このふつゝかによくもせぬ業の罪かろめたる心地するこそ嬉しけれ、いかでかれ、これ照らし合せて其人ざまもしたひ、かつは其まれなる心を心とすべき人もがなとて、

明治四十三年三月中旬

梅の東風に散るを見つゝ　三宅花圃識

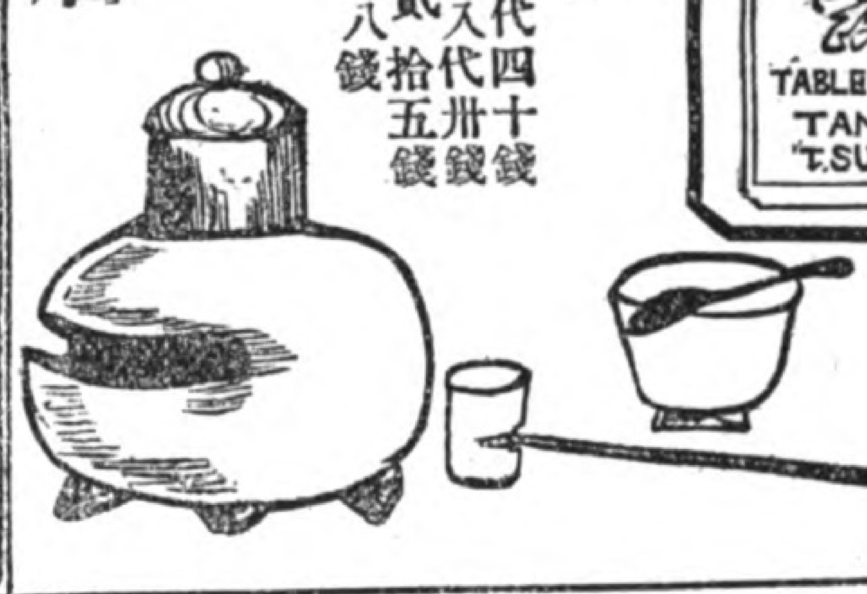
御家庭用薄茶

本品玉の露は宇治の銘茶玉露を原料として固形體となし沸湯を注ぎ匙にてかきまはせば甘味を含める薄茶となりて來客の御もてなしとして

商標 **玉の露** は咖啡以上と賞讚されて重寶の飲料品なり

注意（御近所各販賣店に若しもなき節は發賣元へ御一報被下度し）

定價
極上壜詰　桐箱入代四十錢
極上壜詰ボール箱入代卅錢
甘口壜詰代貳拾五錢
送料市内四錢地方八錢



販賣店　有名なる食料品和洋菓子店にあり

發賣元　東京市神田區豐島町四十番地　細田商店

ハチ印　シャンペンサイダ
製造元　澁谷

經濟と衞生とを兼てお料理をいたしますには先づ赤堀料理講義錄を御覽下さいまし

○赤堀料理講義錄は どんな初心のお方にも極く分易く說明してありますから自宅にてお實習が直出來ます

○赤堀料理講義錄は のこらず假名つきで一々圖解にて說明してムいます故どなたにもよく分ります

○赤堀料理講義錄は 愛國婦人會々員に限り此際御入會のお方には會費を大割引といたし一ケ年分金參圓、半ケ年分を金壹圓五十錢にいたします

日本橋區本銀町一丁目一番地　赤堀料理教場　振替東京口座一三〇〇三番

夏衣新柄品揃
多少に不拘御用命奉願候
だいまる市　熊谷吳服屋
京都市四條御旅町　長電三五五番　振替口座大阪五五二七

凱旋サイダー

小兒科　醫學士　石塚保吉
赤坂區南町三丁目　電話芝三四七四番

產科婦人科小兒科　野中醫院
牛込區納戸町三六　電話番一〇四〇番

產科婦人科　天本醫院
下谷區仲徒町二丁目卅五番地
院長　醫學士　天本治（入院隨意）（電話下谷二六六九）

◎產科。婦人科　◎內科。小兒科　森種太郎
小石川西江戸川二六　電話番町（一四二六）

腦神經精神病
東京赤坂青山病院　帝國腦病院
院長　ドクトル醫學士　齋藤紀一
醫學士　田澤秀四郎
望月溫泉
電特芝二七四五　芝二六六五

婦人科產科　榊病院
醫學博士　榊順次郎　毎日午前診察
醫學士　久保德太郎　日曜水曜午後婦人科的外科
醫學士　田代謹二　火木土曜日午泌尿器病及內科
●施療火木土午後自一時至二時
●施療姙產婦ヲ取扱フ

內科診察　宅診午前及夜間九時迄　往診午後
麴町區三番町三三（電話番町三〇三三）
麴町區四番町四番地（電話番町貳三八四）
醫學士　中山敏樹

耳鼻咽喉科
神田區美土代町一丁目十六番地
醫學士　榊田義衞
電話本局三二九〇

內科一般　板垣亭
東京神田區美土代町三丁目十七番地
午前宅診　午後往診

內田病院
淺草區新福井町二（瓦町電車停留場際）
病院落成に付隨時入院の需めに應ず
小兒科專門
院長醫學士　內田愼太郎
副院長醫學士　瀧原五郎
（午後診察）（電話下谷七一八）

◎產科婦人科　櫻井克巳
芝明船町十九虎門外　電話芝二六四二番

濱町病院　產科婦人科
日本橋區濱町三丁目七番地　電話浪花一六〇番
院長醫學士　小林八十七
醫學士　大瀨貴明
醫學得業士　杉原格藏
醫學士　佐野綱次郎

●產室增築落成
產科婦人科　稻生醫院
日本橋區濱町貳丁目十一番地　電話浪花三三四三番

岩佐病院　日本橋蠣殼町二丁目廿三番地（電話浪花六七九番）
診察時間　自午前　至正十二時
內科婦人科　院主　岩佐純
內科　院長ドクトル　岩佐新
外科　醫學士　山村正雄
產科婦人科　醫學士　佐久間兼信
腦病脊髓病　醫學博士　土田卯三郎

◎院長ドクトル　木村順吉
京橋卅間堀一丁目角（電話京橋一六七〇）
婦人科產科　木村病院

腦神經精神病科
東京龜戸町電話浪花二五五二
加命堂腦病院

…（診察時間）…
○產科、婦人科　入院應需
月、水、金午前　橋爪病院（浪花二六〇番）（日本橋區蠣島町一の廿九）
毎日二時ヨリ五時迄　自宅（下谷二四八七）本郷區眞砂町十五番地
醫學士　橋爪哲造

產科婦人科　小兒科專門　佐伯醫院
四ツ谷左門町五番地　電話番町（二〇一六番）

●小兒科　殊に營養障害
內山小兒科醫院
淺草下平右衞門町十七
院長ドクトルメヂチーネ　內山好十（電下二參六五）

內科橋田病院（錦町三丁目電車停留場側）
●隔離室設備（診察午前　入院隨時）
院長　醫學士　橋田茂重
病院　神田錦町三ノ一九（電本三三九）
自宅　牛込甲良町一一（電番一九六）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

世の多くの婦人は

子宮病の治療を誤て居ないか

一概に子宮病と云ても其種類は隨分多く從つて治療法も種々あるが、一般婦人の自宅治療を見るに甚だ勝手氣儘で服藥は厭だの洗滌は面倒だ、さし藥は困ると病源を考へ藥を適用せず、自己の都合より割出した藥物應用である、爲に內服藥の必用なる病狀に向て外用藥を用ひ、外用藥の必用は內服藥のみを用ゆる矛盾の治療をして、子宮病の不治を嘆く婦人の多きは誠に殘念である津村順天堂の自宅治療法は一藥萬能主義でなく一數種の加減內服藥と數種の外用藥を以て婦人病の根治を保證するのであるが今外用藥中將湯を使用すべき諸症を同病患者に告白す幸に自己の症狀を考慮して本劑を用ゆれば必ず滿足なる結果を得べし尚詳細を知らんと欲すれば詳しき容態を記して本舖津村順天堂へ申込れよ

●中將湯は婦人病一切の內服藥にて中將宮は子宮內膜炎とか白帶、赤帶、こしけ子宮痙攣、子宮加答兒、膣炎、膣加答兒子宮爛糜、子宮惡臭、子宮搔痒、尿意頻促、月經時の疼痛、黴毒性子宮病等の特効あり殊に良夫の黴疾に罹り居る時は黴毒菌の爲に心付かざる內に子宮を害する事多ければ常に中將球を使用して本病を豫防せられよ不姙性と流產、子宮內膜炎の分泌物及び酸性の粘液は精蟲を害し不姙症を起し子宮の炎症は卵の發育を妨げ姙娠するも流產となる事多ければ本劑を使用して病根を斷つ事肝要なり

定價百二十個五圓四十五個二圓二十個一圓九個五十錢三個二十錢本舖は東京日本橋通四丁目(振替口座一六八〇番)津村順天堂です●取次全國各藥店

家政の實驗談
育兒の實驗談
を募集致します、家事方、洗濯の爲方、漬物の漬け方、品物の保存法、●子供の躾け方、子供の衣服の造子守り歌、子供に讀ませる書籍の注意、其の他苟も家政と育兒に關し、有益と思際に御經驗の御話が承りたいのであります。文體は如何でも、唯判りさへすれば宜しく御座ります。端書でも封書でも差支ありません。續々御投書を祈ります。

凱旋サイダー

苟も美容たらんと欲する諸姉は先づ

レーラーロラ
Lait-Larola

を愛用せざるべからず

此化粧用美容劑は冱寒、寒風、硬水に堪ゆる纖皮膚を保ち凍症、ヒビ、アレ、アカラ顔等を防ぐに尤も妙にして且つ皮膚を柔く滑に色白く若やかにす四季を通じて皮膚を細かに完美にす

M. BEETHAM AND SON
CHELTENHAM, ENGLAND

製造所 英國セルテンハム、エムビーサム、エンド、サン商會

各地著名の化粧品店にて賣捌く

すきとうりたる水にて付ると白くなる流行の薄化粧料にして

水晶おしろい

目立ぬ故男子にも用ひられる

定價 五拾錢 貳拾五錢 拾五錢

本舖東京 大和屋

東京市日本橋區小舟町
株式會社 第三銀行

創立 明治九年
資本金 五百萬圓
積立金 三百廿五萬圓

電話浪花 四四二 四五一 三七七七 四五六〇

監督 安田善三郎
頭取 安田善四郎
營業部長 清水虎吉

全國送金無手數料
其他銀行一般の業務便宜に取扱可申候

●東洋一製造大販賣 卸し小賣

●かや蒲團 綿類ざぶとん

外濠線駿河臺下停留場前
神田表神保町二
矢田本店
電話本局二〇一八番
市內無賃配達

諸官省御用 や

●階上縱覽御隨意 珍柄高等品澤山有り

●綿質保險附●確實大勉强●正札引なし

いけ花獨習の良書

古流 挿花の栞

挿花大家島田理鶴先生著 價壹圓五十錢 小包料十二錢

▲挿け花の本宗古流の眞髓秘傳萬法悉く發表

▲活け方撓め方飾り方根締め水の滋へ方其他四季百花の挿方一一細說

▲數百種の圖繪挿入製本美麗床の間の飾り本として上品無類

▲素人一讀應用自在素養ある人は一讀奧義精通

◎烈婦美譚 大和撫子(再版) 大好評 女子大學井上民子女史著 定價四拾五錢 郵稅六錢

◎實用文字便覽(再版) 好評嘖々 文學士藤田篤君著 價五十五錢稅六錢

◎新案商業書信活法(再版) 大歡迎 中野高間兩君共著 定價五拾錢郵稅八錢

◎克己心の修養(五版) 好評無類 蘆川山崎兩君共著 定價壹圓郵稅八錢

東京南紺屋町 電話京橋八七四番 實業之日本社 振替貯金口座參貳六番

毎日午前八時より午後九時迄院長診察

皮膚病 梅毒 りん病 わきが 生殖器病 ぢ

東京淺草橋通瓦町 廿八瓦町停留場橫 中央醫院

婦人病ヒステリー症たむしにきび等諸病

皮膚病 梅毒 りん病 消渇 ぢ 諸病婦人

血の道 子宮病 月やく とまりたる 子なき婦人

生殖器病 神經衰弱 記憶力減衰 陰萎 夢精 遺精 早漏 陰莖發育不充分 わきが

▲病狀を記し郵券六錢を送れば其病を速治する專門醫中央醫院長處方の特効新藥說明書を送る

東京淺草瓦町廿八 瓦町電車停留場橫 中央藥院

御扇子

愛國婦人會御用達
京都寺町五條下ル東側
御影堂 持阿彌

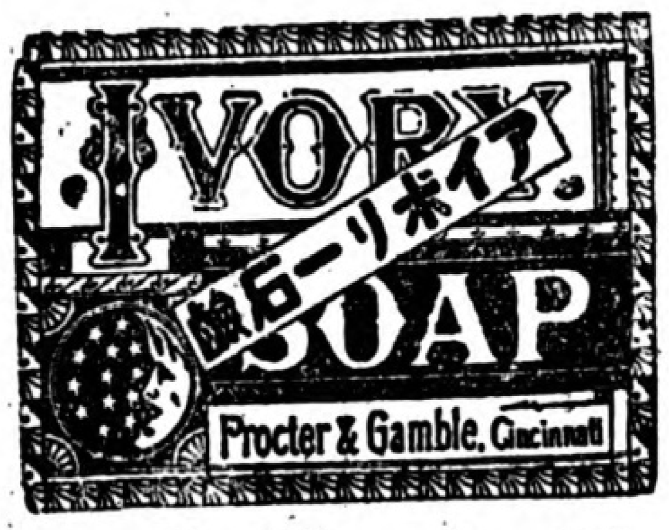
資本金千八百萬圓

東京京橋區木挽町
株式會社 十五銀行
電話新橋 三三〇〇番 一五三〇番 三一九三番

同日本橋區新乘物町
同 日本橋支店
電話浪花 一九〇一番 三二七四番 三五〇五番

一定期預金 六ケ月以上年四分
一當座預金 日步五厘
一特別當座預金 同 八厘

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN



日本輸入品に限り包裝紙に斜に「アイボリー」石鹸と記入し一見模造惡質石鹸と判別に容易ならしむ御購求の節「アイボリー石鹸」に御注意を乞ふ

丹波博士方劑
ばら歯磨
本品は各階級を通じて其需要者最も多く今や模範的歯磨として益々愛用せらる
本舖　東京神田久右衛門町　東光園

長崎特優產
愛國婦人會總裁宮殿下御嘉納ノ榮ヲ賜フ何ゼ？
東京婦人はカネノツジ洗粉を盛に御用ゐになるのでしよか
カネノツジ洗粉
原料が植物質で石鹸の如く刺戟物を含まず玉の如き肌花の如き顔せ何れも自然の美を益々美白ならしむる効用の顯著なるためです
長崎市豐後町
本舖　松尾勝平
振替口座福岡二〇七四番
見本　送料共十錢
一ポンド送料共二十二錢
六ポンド送料共壹圓容器ヲ添

見る雜誌讀む畫報　五月の卷發行
新婦人
雜誌界のレコード破り
發行所
東京本郷龍岡町
聚精堂
賣捌所全國到る處の書林雜誌店
電下四〇七九
電下一六七二

優良なる舶來石鹸を望まるゝならば
ゴスネル會社製を需められよ
コスネル會社
倫敦　巴里

衛生無害　天下一品
菱百正宗　賀茂鶴

東京日本橋區蠣殼町三丁目十二番地
發賣元　木村東京支店
電話浪花四一七五●振替東京一八五八六
●市内一升以上御注文は直ちに配達仕候

畏きに村井弦齋先生の賞讃を博し今又宮内省御買上の光榮を得たる

衛生に注意の男女方は彼れ是れ迷はずにみやけ油を御用ゐなさい模造品四方にあれば長髮美人商標と東京人形町みやけ油本舖製に御注意信用ある店に販賣す
長振替口座東京八七五番
電浪花六二〇番

閑院宮兩殿下御嘉納藥

赤十字社總裁
愛國婦人會總裁

赤十字院長橋本子爵處方
救世丸
胃腸肺病 原因療法

宮内省侍醫岩佐男爵處方
壯婦丸
婦人諸病 民間療法

強力なる消化、殺菌、防腐、滋養の作用を具備し胃腸を健全ならしめ諸傳染病を豫防するに偉功を奏し征露丸に改良を加へたものなり

ヒステリー、子宮病、産前、産後、血の道一切、又めまい、頭痛、不眠、便秘、神經衰弱等には男女共に偉功を奏し貴女紳士間に信用を博せしものなり

○販賣取次は本舗又は代理店に申込まるべし
○藥價拾錢　參拾錢　七拾錢　壹圓參拾錢　壹圓八拾錢
○全國有名なる藥店にあり
○藥價は爲替又は振替貯金にて御送金ありたし
○効能書贈呈

東京深川公園　本舗　合資會社　福井堂
電話浪花長五六九　振替東京二三六六

愛國婦人取次販賣所
東京市京橋區桶町三二番地　田口組（電話京橋九三二）

男子ハ評判ヨキ純良ノ石鹸トシテ何ヲ使エルヤ
答スミス石鹸
女子は化粧に必要なる最も良き洗粉は何を撰びますか
答スミス洗粉であります

關東發賣元　東京銀座一丁目　佐々木商店
關西發賣元　大阪市心齋橋北詰　三共商會

頭髮の薄き、惡しき、拔毛に苦しむ
●毛髮洗滌液 **ペトロール、ハーン**
は目下歐米到る處に高評嘖々たるものにして毛髮を濃厚にし、フケ拔毛を止め、光澤を增し且つ柔軟ならしむ、而かも馥郁たる香氣あり使用復永く快感を覺えしむ眞に神妙なる逸物なり
（各地有名なる化粧品店にあり）
代價　小瓶一圓廿五錢　大瓶二圓
横濱市山下町七十番　エー、ハイム商會

主効能
眼、耳、鼻、咽喉、船暈、頭痛ニ奇効を奏す
（說明書無代進呈）

●眼、耳、鼻、咽喉、頭痛
等の諸病に苦しむ者は速かにアクチナを試用せられよ
奏効如神
（定價送料共十二圓）

營業品目　電氣醫療器　懷中電燈　探見電燈　其外電氣器具一式
（營業目錄進呈）

本店　東京市京橋區尾張町二丁目（銀座通東側）（電話新橋四一二二番）（振替東京一八四七三）
支店　大阪市東區心齋橋筋博勞町南入西側
　　　横濱市吉田町一ノ二九（電話一九三二）
サンデン電氣商會

別染するゐなゆかた
めりんす友染新形
いせさきめいせん
其外夏物全部取揃

東京人形町通よし町
赤のれん　おむなや本店　電話浪花四三四五
向ふまへ　おむなやめりんす店

東京市日本橋區通一丁目
合名會社　森村銀行
電話（特）本局六七三番
電話本局四九八番

定期預金　六ヶ月　年四分五厘
當座預金　百圓に付日歩　五厘
特別當座預金　同日歩　九厘

金婚正宗の名譽

畏も東宮殿下御買上の榮を荷へり

●御進物用には至極好適

●御常飲用には樽詰もあり

優等清酒金婚正宗の品質純良なるは既に定評あり而も價額尤も低廉也

宴會用御瓶詰あり
瓶詰箱入
各洋酒問屋にあり

發賣元
神田美土代町二丁目角
豐島屋本店
電話本局一七五四　三八八一

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人廣告取扱

京橋區宗十郎町一七　正路喜社
愛國婦人海外廣告一手取扱

京橋區南紺屋町一　一星社
神戸市元居留地仲町三八　東洋廣告取次會社

京橋區廣告社
神田多町二ノ十七　金剛社

花圃 三宅龍子著

大野靜方裝幀意匠

贈正五位 野村望東尼

目次

●平尾の山の井●都の空●月の雲●生野の落葉●籠にすむ鶴●花の友ずり●野中の高杉●平田の落穗●物思ふ宿●雁の行かひ●姫島の夕●月夜の眞帆●花浦の初霜●千代の松原●上京日記●夢かぞへ：●附錄――望東尼詠歌

口繪

●三色版‖望東尼自作押繪細工‖同嵌込細工●寫眞版‖血書經文●姫島牢屋自畵●千種有功卿懷紙●平望東尼自作芭蕉葉の色紙と歌●野國臣獄中にて捻紙にて押したる色紙●近衛公短册●三條公短册●近衛家老女村岡短册●望東尼のすみし山莊●望東尼の墓●鶴原氏の一族

菊判美本函入
紙數三百九十四頁
定價金貳圓
送料金拾錢

日本魂が女性に現はれし近代の好例は、筑前の女傑 野村望東尼に於て之を見る．望東尼夙に尊攘の大志を抱き、高杉晋作、平野國臣等の志士を保護激勵し、屢々京師に往來して志士の後援となり、遂に幕府の忌諱に觸れて流竄の身となりしも、志愈々猛に、鈎袂裂裳、東奔西走の間、遂に病を獲て異鄉に客死したる、其の生涯の波瀾曲折に富み、多趣多樣の經歷を有し、人をして傳奇的趣味を覺えしむるの饒き、古今を通じて其の類例鮮し。本書は、望東尼の傳奇的生涯を、三宅雪嶺夫人花圃女史が獨得の筆致もて書き綴りしもの、行文の艶麗にして且つ一種勁拔の調ある、此の女傑が傳奇的生涯を傳ふるに適せり．殊に姫島脱獄の光景など、其の興味の深き、小說を讀むにも優れり。學校及び家庭に於ける女子必讀の好著にして、以て精神訓話の資料とすべく、兼ねて又た女子習文の軌範とすべし。

發行所　東京市四谷區愛住町四十七　政教社　振替口座東京壹壹八四四番　●　賣捌　全地國書各店

明治四十四年五月十五日發行(毎月二回一日、十五日)　(定價金三錢五厘一ヶ月金七錢郵税不要　廣告料一行金六拾錢)　發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 竹內貞三　發行所 東京麴町區飯田町 愛國婦人發行所 ●電話番町千七百四十五番●同五百二十番　印刷所 東京市小石川區久堅町 博文館印刷所 ●振替貯金口座東京壹壹三八一番

附録 愛國婦人會記事

本部記事

特別徽章並に有功章御親授式

本會總裁宮殿下には第十回總會の前日午後二時より麹町永田町なる御本邸に於て特別徽章並に有功章を御親授あらせられたるが、定刻午後一時三十分迄に光榮ある受章者は自働車馬車人力車等にて陸續參集し御玄關左側の受付を經て應接間に入り暫時休憩、やがて二時を報ずるや一同御廊下に整列して指名を待ち奉る、かくて總裁殿下には一人々々別室に御招きありて岡部會長、阿部副會長、濱尾理事等參列の上順次御手づから御親授あり、拜受して退出するや御庭拜觀を差許され茶菓の御饗を賜はり一同身に餘る面目を施し午後三時頃隨意退散したり。當日御親授の光榮に浴したる名譽の受章者氏名左の如し。

特別徽章　東京支部主任幹事　村田歌子
同　靜岡支部幹事部長　天野靜子
同　同幹事部顧問　天野千代丸
一等有功章　東京支部長　阿部龍子
同　同顧問　阿部浩
同　岐阜支部長　薄井ふみ子
同　岡山支部副長　菅敬子
同　青森支部評議員　小林コト子
同　香川支部主事　片岡正倫
同　東京支部主任幹事　清水よれ子
同　靜岡支部幹事部長　本田きみ子
同　同幹事部顧問　本田龍助
同　東京支部幹事　日々谷茂登子
同　青森支部幹事　高柳とよ子
二等有功章　神奈川支部幹事部長　若林糸子
同　神奈川支部幹事部顧問　若林辰之
同　東京支部幹事　勝野愛子
同　同　森友ます子
同　同　萩原仙子
同　同　江藤照代
同　同　下村花子
同　同　橋本サダ子
同　宮城支部幹事　山本かれぢ
同　青森支部　堤ちせ子
同　青森支部幹事　富谷のぶ子
同　秋田支部　長田藤四郎
同　同　長谷川ミト子
同　福井支部幹事　中澤淳子
同　同　石田小槇
同　同　三崎歌子
同　同　大月春子
三等有功章　本部評議員　保利久土
同　東京支部幹事　遠城繁子
同　同　鹽田孝子
同　東京支部幹事子爵夫人　細川同子
同　同　德岡久子
同　同　服部よう子

新任評議員

總會當日新に選任されたる評議員氏名左の如し。

公爵三條公美氏夫人　三條千代子
侯爵木戸孝正氏夫人　木戸壽榮子
伯爵有馬賴萬氏夫人　有馬豐子
伯爵南部利淳氏夫人　南部殿子

同　同　同　川名よし子
同　同　同　奈良林登代子
同　同　同　鶴岡ふさ子
同　同　同　關根いち子
同　同　同　藤遊龜江
同　同　幹事部長　高崎三保江
同　同　幹事部顧問　安藤源次郎
同　東京支部幹事部顧問　高崎壽
同　同　幹事部委員　原島秀吉
同　同　同　廣瀬銀六
同　同　同　國枝捨次郎
同　同　幹事　中山貞子
同　同　同　鹽谷萬壽子
同　同　同　西條幸子
同　同　同　磯部とき子
同　同　同　飯島たけ子
同　同　幹事部委員　小宮山信子
同　東京支部幹事　白石菊次
同　同　同　中村べん子
同　同　同　白石ます子
同　同　同　高木かれ子
同　同　田中福太郎
同　神奈川支部幹事部長　菊池コト子
同　同　幹事部顧問　菊池芳二
同　同　幹事　高木こう子
同　同　同　佐伯やゑ子
同　同　幹事部事務員　小倉敬之助
同　新潟支部　關矢千枝子
同　同　酒井綏子
同　同　目黑遲子
同　千葉支部幹事　平山とみ子
同　同　幹事部委員　平山忠藏
同　茨城支部幹事部事務員　住谷三次郎
同　同　幹事部委員　臺本鉎晉
同　同　笹本とく
同　栃木支部幹事　瀧田ツネ子
同　同　堤響セン子
同　栃木支部　濱田正意子
同　同　田代スミ子
同　三重支部幹事　長瀧久壽子
同　靜岡支部幹事　吉田琴子
同　同　幹事部委員　太田彦悳茂
同　同　幹事　岡田榮子
同　山梨支部幹事部長　福武富久
同　宮城支部評議員　武田ひさ
同　同　同　野副とよ
同　同　幹事部長　小倉みや
同　宮城支部幹事部長　清野多利乃
同　同　同　戸田シク
同　同　幹事部顧問　伊藤近春
同　同　幹事　奈良しな
同　同　癈兵十七名總代　早坂長五郎
同　同　吉田つぎ
同　岩手支部幹事　北村イナ子
同　青森支部　大澤スエ子
同　秋田支部　長田ノブエ子
同　同　長田ツノエ子
同　同　荒川キヨ子
同　同　尾留川ミヨエ子
同　福井支部幹事　加藤スヾ子
同　同　同　水谷久子
同　同　幹事部事務員　光友猪太郎
同　岡山支部幹事　佐野茂子
同　同　同　飛田彌曾子

總裁殿下御招待

去る九日總會終了後午後三時總裁殿下には總會參列の爲め上京中の支部長副長等を特に本邸に御召しありて茶話會の御催しあり、當日の參會者左の如し。

子爵伊集院兼知氏夫人　子爵鳥居忠文氏夫人　子爵鍋島直和氏夫人　子爵松平直德氏夫人　子爵松平乘長氏夫人　子爵藪篤麿氏夫人　子爵櫻井忠胤氏母堂　子爵大河內正敏氏母堂　男爵安場末喜氏夫人　男爵小早川四郎氏夫人　男爵目賀田種太郎氏夫人　華族松平賴溫氏夫人　南部光臣氏夫人　益田太郎氏夫人　小野田元熈氏夫人　村上義雄氏夫人　安藤謙介氏夫人　大島久滿次氏夫人　大塚貢氏夫人　阿部浩氏夫人　岡田孝吉氏夫人　鶴原定吉氏夫人　岩崎久彌氏夫人　永井環氏夫人　平岡定太郎氏夫人　安田善三郎氏夫人　加藤增雄氏夫人

會長子爵夫人　副會長伯爵夫人　理事男爵夫人　理事　同　評議員前子爵夫人　同男爵夫人　同男爵夫人　同男爵夫人　同男爵母堂　同　同　同　同　同　同　同　同　同　同　東京支部長　神奈川支部長男爵夫人　長崎支部長　埼玉同　千葉同　茨城同　岐阜同　宮城同　福島同　岩手同　青森同　福井同　石川同　鳥取同　島根同　岡山同　福岡同　大分同　沖繩同　函館支部副長　臺灣支部副長　東京支部副長

（順序不同）

伊集院春子　鳥居讃子　鍋島貞子　松平槙子　松平芳子　藪篤子　櫻井錦子　大河內美能子　安場とも子　小早川式子　目賀田逸子　松平透子　南部幸子　益田貞子　小野田安子　村上須磨子　安藤菊子　大島富子　大塚富世子　阿部龍子　岡田鉎子　鶴原誠子　岩崎寧子　永井兼子　平岡夏子　安田暉子　加藤眞佐子　岡部坻子　阿部篤子　濱尾作子　棚橋絢子　三輪田眞佐子　丹羽花子　原口關子　尾崎八重子　關郁子　松村琴子　大久保榮子　押川愛子　山脇房子　柳谷千代子　古市幸子　有島幸子　仁杉歌子　龜井眞洲子　下岡まつ子　渡邊源子　岡田鐵子　阿部龍子　周布良子　犬塚靜子　島田才子　告森多賀子　坂逸子　藤ふみ子　寺田春子　西久保みさ子　笠井よし子　武田濱子　中村千代子　李家貫實子　岡儀子　高岡梅子　谷口美代子　寺原松子　千葉久子　日比松子　安井吉野子　石井しつ子　昌谷穗子

東京支部同　神奈川同　埼玉同　群馬同　千葉同　茨城同　靜岡同　長野同　福井同　山口同　佐賀同　佩有功章　同　同　佩特別徽章男爵

濱野直子　堀みつ子　黑田てつ子　佐藤つた子　下山顯子　田中穎子　小島とき子　力石壽惠子　池松てつ子　小田切もと子　山本嘉壽子　高村てい子　天野しづ子　今村順　周布公平

振天府拜觀

既報の如く去る十一日男爵夫人濱尾作子外百二十二名に對し振天府拜觀差許され一同正午迄に本部に集合の上參內されたり。

茶話會

總會の翌々十一日午前十時より午後四時迄の間に於て九段偕行社樓上にて開催されたり、此日會長副會長其他理事評議員等終日來賓の接待に努められたるが來會員一千五百名餘非常の盛會なりき。

主事慰勞會

十三日、午後五時より築地精養軒に於て各支部主事慰勞の爲め晩餐會を開き午後八時和氣靄々の裡に散會

評議員會

去る三日本部に於て評議員會開催、岡部會長、阿部副會長、濱尾理事、棚橋理事、三輪田理事、井伊增子、井伊常子、原禮子、丹羽花子、本庄孝子、戸田時子、大久保榮子、大谷かち子、渡邊源子、龜井眞洲子、鍋島易子、尾崎八重子、柳谷千代子、有島幸子、有地捨子、佐方鎭子、下岡まつ子、古市幸子、仁杉歌子、關郁子の各評議員諸氏（順いろは）出席、明治四十三年度會計決算報告の件其他に就き協議あり終りて總會準備に就きて種々打合はせありたり。

遺族接待

去る四日より七日に至る四日間、靖國神社臨時祭及春季例祭執行に際し本會よりは例年の如く紅白餅一重を神前に供へ、且つ五日六日の兩日間本部內に參拜遺族接待所を設け、五日には岡部會長、濱尾理事、山脇參事會員並に井伊增子、岡田德子、尾崎八重子、三井照子、下岡まつ子（順いろは）の各評議員、六日には阿部副會長、關參事會員、有島、下岡（順いろは）兩評議員等懇切に來會遺族を接待され、茶菓を饗し且つ總裁宮殿下御親筆複寫及記念扇子を贈呈せられたり

東京支部

▲神田幹事部の癈兵院慰問

當支部神田幹事部に於ては例年一回癈兵院慰問を續行しつゝありしが本年も亦去る三月二十六日午後一時より横幕主任幹事外八幹事並後藤支部主事の一行は打ち連れて巣鴨なる癈兵院に至り懇切に名譽の癈兵諸氏を慰問し同區內會員有志より募集したる慰問袋（一個代五十錢以上）六拾五個と菓子袋包各一個宛を贈與し餘興として演劇講談茶番等種々の催あり終りて一同記念の撮影をなし同四時頃退散

靜岡支部

▲三島町會員總會

當支部田方郡三島町第七回會員總會を去る四月九日同町戰捷記念館に於て擧行し當支部より田中主事、幹事部よりは尾崎幹事部長大場事務員河合三島町委員戸田幹事並に糸賀高等女學校長及び會員六十五名遺族十一名參列、午後一時河合委員開會の辭を述べ戊申詔書を捧讀し續て會務及會計報告をなし、田中主事の演述あり、次に支部長より遺族へ贈與の菓子料を傳達し、糸賀高等女學校長の講演ありて式を畢り茶菓辨當を供し種々餘興ありて頗る盛會を極めたり。

神奈川支部

▲鎌倉郡幹事會

去月十七日鎌倉郡衙樓上に於て開催周布支部長細副長は日比主事深川事務員を從へ臨場され原田幹事部長原田顧問以下數十名參集先づ午前十時高等小學校女生徒の君ヶ代奏樂裡に開場し次に去三十七八年戰役の功績に依り同幹事部へ賜はりたる銀杯の授與式を行ひ支部長より懇篤なる訓示あり幹事部長答辭を述べ又幹事部顧問及主事より將來の發展上に付き演述あり正午式を了り晝餐の後種々の餘興ありて午後三時閉散したり。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

富山支部

▲支部職員總會

閑院宮載仁親王殿下並に本會總裁殿下の台臨を辱ふしたる富山支部第一回職員總會は既報の如く去る四月五日富山縣廳構内縣會議事堂に於て開催せられたり。

當日兩殿下には午前八時金澤驛御發車同九時四十五分富山驛御着、プラットホームに於て奉迎の文武高等官貴衆兩院議員縣會正副議長赤十字社支部職員同佩有功章者特別社員篤志看護婦人會支會職員及本會支部職員同佩有功章者等に御會釋を賜ひ扈從の人々と共に腕車に召させられ沿道堵を爲せる諸學校生徒及一般人民の奉迎を受け御旅館富山ホテルに入らせられたるが、同十時四十分御旅館御出發赤十字社富山支部病院新築落成式、篤志看護婦人會富山支部職員會に台臨被爲在斯くて午後二時三十分支部病院御出發、同二時五十分支部職員總會場たる縣會議事堂に御着、玄關に整列せる支部長濱田雪子以下幹事部長以上の職員の奉迎を受けさせられ支部長の御先導にて御休憩室に入らせらる、御休憩中支部長は職員名簿及事業報告書を總裁殿下に捧呈す、かくて別室に於て支部副長密田常子以下評議員及佩有功者に拜謁仰せ付けられたり

(此場合に於て拜謁を賜はりしは支部長以下幹事部長以上の職員等なりしが既に支部病院に於て拜謁濟の者を除きたり)

今少しく設備の狀況を記さんに、式場は縣會議事堂の北方に於て巾十二間奥行二十間の清洒なる假屋を建設して之に充て正面に式壇を設け内壁は白布を以て蔽ひ柱は紅白布にて捲き周圍に幔幕を張り場内に無數の萬國旗を掲ぐる等頗る意を用ゐたり、又職員及遺族癈兵の爲めには同所に接續せる縣立高山高等女學校を借り受け休憩所並に特別御下賜金、總裁宮御歌複寫、折詰等の交付所となし接待上整理上遺憾なからしめたり、而して當日は豪雨降り頻りたるに拘はらず參列者は午前八時頃より陸續として參集し午後二時に及ぶや一同式場指定の場所に整列し靜粛に殿下の台臨を待ち奉る。

軈て午後三時愈々開會の時刻となるや奏樂中兩殿下には支部長の御先導にて式場へ台臨參列者の敬禮を受けさせられて御着席あるや『君ケ代』の奏樂あり、支部長開會を宣し、總裁殿下には左の御諭旨を朗讀被爲遊一同恐懼して拜聽し奉る

本日富山支部職員總會に臨み諸氏と相見るを懌ぶ、富山支部に於ける本會の事業は諸氏勵精の結果漸次發達し見るべきものあるは大に嘉尚すべし、夫れ本會の事業は前途尙ほ遼遠諸氏益々協同奮勵せられんことを望む。

一同最敬禮を爲し支部長左の答辭を上る

茲に愛國婦人會富山支部第一回職員總會を開くに方り忝くも
閑院宮載仁親王殿下並に本會總裁殿下の台臨の光榮を荷ひ且つ總裁殿下の御懇篤なる御諭旨を拜す是れ雪子等の感激措く能はざる所なり、自今以後一層奮勵を加へ益々會務の擴張と救護の完成とに努め以て深達なる御懿旨に副ひ奉らんことを期す、謹て奉答す。

明治四十四年四月五日

愛國婦人會富山支部長　濱田雪子

次で永井支部副長は會務並に會計の報告を爲し、終りて阿部副會長は左の祝辭を朗讀せらる。

愛國婦人會富山支部は總裁殿下の台臨を仰ぎ爰に職員總會を開かる篤子等の最も慶賀する所なり、惟ふに當支部は各職員方の熱誠なる盡力に依り年を逐ふて會員の増加せるは誠に欣喜の至りなり、然れとも本會の目的たる遺族癈兵救護の實を完うせんには前途尙は容易の業にあらず、冀くは益々努めて以て總裁殿下の台旨に副ひ奉られんこと、を聊か所思を述て祝詞とす。

明治四十四年四月五日

愛國婦人會副會長伯爵夫人　阿部篤子

次に總裁殿下には前田久美子外二名(一等)甘粕みや子外五名(二等)岡山たけ子外百二名(三等)に對し有功章御親授あらせられ(因に濱田雪子には一等、永井みや子二等の各有功章を支部病院御成りの際御親授あらせらる)續て遺族癈兵へ特別御下賜金御親授の事あり癈兵總代として元陸軍歩兵上等兵田前兵太郎遺族總代として故陸軍歩兵大尉木村元吉父木村精一之を拜受せしが、殊に田前は三十七八年戰役の際巣臺に於て右手右足を失ひ頸部顏面傷痍を負ひしものにして一義足に依り辛ふじて獨力階段を上り御下賜金を拜受せしも降段に際し蹌踉顚落せんとせしが幸に事なきを得滿場をして無限の感に堪へざらしめ暗涙に咽ばしめたり、次で支部長閉會の趣を宣するや兩殿下には一同の最敬禮を受けさせられ奏樂中支部長の御先導にて御退場貴賓室にて御少憩の後御旅館に御歸還被爲在たり、因に當日來賓の主なるに神尾第九師團長、東郷歩兵第三十一旅團長、李家石川支部長等にして出席の職員四百名遺族癈兵の參列者二千名なりき。

又、當日午後六時より赤十字社支部篤志看護婦人會支會並に本會支部の合同主催に係る特別宴會を縣會議事堂に於て開催し兩殿下の台臨を仰ぎ御一行其他來賓を始め赤十字社職員佩有功章者篤志看護婦人會支部職員並に本會支部幹事部長以上の職員新佩有功章者等二百五十名を招待せしが、兩殿下には同五時五十分更に議事堂に御着濱田本會支部顧問の御先導にて貴賓室に入らせられ六時支部長の御先導にて宴會場に臨ませられ、奏樂中に開宴、支部長の挨拶あり、宴將に終らんとする頃、支部長の發聲にて兩總裁殿下の萬歲及三會の萬歲を三唱せしが、之れに對し小澤赤十字社副社長は總裁殿下の御思召なりとて三會各支部の萬歲を唱へ、終りて兩殿下には御退場御少憩の後御歸館あそばされたり。

又翌六日當地御出發の爲め午前七時三十分御旅館御發、同八時臨時列車に依り富山驛御發車、同八時三十一分高岡驛御着、同市製産共進會へ御立寄、市長文武高等官等に拜謁を賜はり次で場内御通覽御買上品等ありたる後古城公園御巡覽、同十時三十七分御機嫌麗はしく當夜の御宿泊地たる敦賀へ向け御發車被爲在たり

岐阜支部

▲不破郡幹事部總會

當支部不破郡幹事部に於ては客年來職員並有志者一致協力して支部配當數女子百人に付き會員二人に達せしめんとの計畫を立て熱心に勸誘の結果此程に至り漸く所期の會員數に達せしを以て本月十五日を卜し同郡垂井町朝倉山に於て第一回總會を開く、此日會する者同村附近に於ける會員約百名にして支部よりは支部長代理として副長石橋滋子は西尾植村兩事務員を隨へて臨場し來賓としては松野代議士木村縣會議員各町村長等臨席したり、式の次第左の如し。

一、一號鐘(正午)　會員一同參列
一、二號鐘　來賓參列
一、三號鐘　支部長臨席
一、幹事部長挨拶
一、支部長祝詞(左記の如し)
一、窪田不破郡幹事部顧問の祝詞演說
一、會員總代の答詞
一、會務報告(大須賀事務員)
一、閉會の挨拶

續て質素なる園遊會を開き記念として手巾並に菓子折の配與を受け各自充分の歡樂を恣にし午後二時散會せり、支部長の祝詞左の如し。

愛國婦人會岐阜支部不破郡幹事部は近時駸々として會務發展し本日を以て第一回總會を開くに至る本會事業の爲め洵に欣喜に堪へざるなり冀くは忠愛なる會員諸氏益々奮勵將來一層其の基礎を固くし救護の實を擧ぐることに努められんことを望む。

愛媛支部

▲郡中町外七ケ村聯合總會

當支部伊豫郡幹事部郡中町外七ケ村聯合總會を去る四月十六日郡中町彩濱館に於て開催せり、此日天候清朗春色殊に麗かなりしかば朝來より會員及招待に應じ參會する戰病死者軍人遺族及癈兵の來會するもの多く午前十一時に至り既に會場は立錐の餘地なきに至れり午前十時過ぎ伊澤支部長は岡田支部副長及岩田評議員高木事務員等と共に臨場あり暫時休憩されやがて午前十一時半振鈴の開式を報ずるや一同會場に整列し嚴肅にして美麗なる裝置の下に幹事總代藤田やすよ子は茲に開會を告げ高市栗田兩幹事は　總裁宮殿下御眞影の覆を撤し一同起立最敬禮(此間奏樂)あり幹事總代の令旨捧讀支部長の告辭幹事部顧問の祝詞演說あり幹事總代之に答へ　御眞影の覆は復されたり次に高木支部事務員は會務の現況を報告し斯くて全く式を終りたるは正に午後一時なりき、夫れより彩濱館裏に於て一同記念の撮影をなしたり。

本會參會したる會員は二百七十六名癈兵遺族百三十一名及來賓十名にして參會者には折詰辨當及茶菓を配付し猶餘興としては福引發聲器使用素人義太夫及手踊の催ありて何れも充分勸を盡して午後六時半隨意開散せり。

長野支部

▲松本市幹事部定例會員總會

客月十六日午後二時長野支部松本市幹事部第一回定例會員總會を同市神道公會所に最も盛大に開催せり、來會者百數十名小里幹事部顧問の開會の辭、長岡支部事務員の事務報告あり餘興として有志の挿花、謠曲、箏曲の合奏等あり特に幹事部諸氏の工夫になれる北條時頼の母松下禪尼の障子切張を爲し兄義景を誡め時人をして節儉の尊きを示せる活人形の飾付は時宜に適する考案にして最も衆目を牽きたり、茶菓の饗應あり歡談の後一同記念の撮影をなし愛國婦人會の萬歲を三唱し午後六時各自退散せり。

凱旋サイダー

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會第十回總會

式次第

第一鈴、（午前十時三十分）

一、參列者入場

第二鈴

二、會長開會ヲ宣告ス

三、評議員ノ選擧

四、皇后陛下臨御　（君ヶ代吹奏）

五、令旨ヲ賜フ

六、總裁殿下奉答

七、會務并ニ會計報告

八、會長閉會ヲ宣告ス

九、入御　（君ヶ代吹奏）

第三鈴

十、諸員退場

◉明治四十三年度（暦年）愛國婦人會事務成績報告書

四十三年度事務成績の大要を各項に區別し報告する事左の如し

○總會　本會第九回會員總會五月九日東京市日比谷公園に於て開く當日皇后陛下行啓被仰出　皇太子妃殿下特に行啓の御沙汰を蒙りたるも宮中喪に因り俄かに御中止の事となりたり然るに畏くも皇后陛下より宮中に於て左の御令旨を總裁殿下に賜ふ

本日愛國婦人會の總會に臨み本會々員の年を追て增加するを見るは欣喜の至なり

總裁殿下の奉答左の如し

愛國婦人會第九回總會に際し皇后陛下親臨あらせられ且つ優渥なる令旨を賜ふ

陛下夙に戰死者の遺族並に癈兵の救護に軫念あらせられ本會の事業に庇護を賜ふ一日にあらず智惠子等誠に感激に堪へず益々奮勵して陛下の懿旨に副ひ奉らむことを期す

謹みて奉答す

總裁殿下並に名譽會員各宮妃殿下も亦宮中喪に因り台臨御中止となりたるを以て式場に於ては　總裁殿下の御沙汰に依り會長岡部延子は御令旨を副會長阿部篤子は御奉答文を捧讀し理事濱尾作子は開會の辭理事三輪田眞佐子は會務並に會計報告を朗讀せり參列者約一萬二千人內東京支部に屬する遺族癈兵千八百八十三名にして最も靜肅に終了せり

○支部總會　本年中總會を開催したる支部左の如し

但し各支部共總會に對し御諭旨を賜はりたり

福岡支部第一回總會　四月十七日
總裁殿下御台臨參列者約一萬二千人
內遺族癈兵千三百餘人

沖繩支部第三回總會　十二月十七日
總裁殿下御台臨參列者約千五百名內
遺族癈兵約五十名

幹事部總會　岡山支部岡山市幹事部外十五幹事部

委員部總會　元韓國元山委員部外四委員部

町村會員總會　岩手支部長坂村外十一ヶ所

○銀杯下賜　明治四十二年中宮城外二縣凶作の際罹災窮民に金貳千貳百五拾圓賑恤の爲め寄附せし廉に依り明治四十三年十一月一日賞勳局より銀杯壹組下賜相成たり

○本年中本部職員の異動左の如し

退職

評議員　仁尾繁子
同　長岡芳子
同　日下淸子
同　佐藤猶子
同　佐々木芳子

○會員數　明治四十三年十二月末日現在會員七十九萬八千八百九十二人內二萬八千九百八十八人（特別會員一千二百二十九人通常會員二萬七千七百五十九人）は本年の增加に係るものなり外に死亡事故退會及除名したるもの一萬六千五百四十七名なり

○規則設定及改正

一本部規則改正
一本部事務細則改正
一同　給與規程改正
一同　資產管理處分規則中改正
一支部給與準則改正
一救養所規則改正
一同　會計規則中改正
一同　給與規則中改正
一協約狀謄本樣式設定

○本會創立記念日　本會創立記念日を本年より三月二日と定む

○本年中有功章及特別謝狀贈與數左の如し

一特別徽章　二十七人
一一等有功章　五十三人
一二等有功章　百　人
一三等有功章　四百二十八人
一特別謝狀　二百五十八人

○本部職員支部出張　副會長伯爵夫人阿部篤子氏は沖繩支部第三回總會に理事棚橋絢子氏は岡山支部岡山市幹事部總會に理事三輪田眞佐子氏は長野支部諏訪郡幹事部總會に評議員男爵夫人關郁子同龜井眞洲子の兩氏は福岡支部第一回總會に臨式の爲め出張せり

○援護事業　本會の目的たる軍人の遺族並癈兵を援護する事業は年を逐ふて發達し殊に本部は事業の一として遺族並癈兵の兒童に相當の敎育を與ふる目的を以て各支部より志望者十五名を本部に收容し前年收容の五十名と併せて六十五名を敎養し其內中學校に入りし者三十三名陸軍地方幼年學校に入りし者二名を出し他は皆麹町區內の小學校に從學せしむ又各支部に於ても援護の方法を講究し適當なる方法を設けて生計の途を立てしめんとす就中東京大阪秋田富山山口香川福岡の如きは各其地方に適合する業を選び之に從事せしめ若くは職業要具を頒與して其職に就かしめ以て生計を幇助す其他各支部は現金を贈與して遺族並癈兵の生計を援助す而して之に要せし本支部の支出金額は左の如し

明治四十三年度に於ける本部支出の援護金は金拾壹萬四千七百七十貳圓貳拾貳錢にして之を大別すれば○個人現金贈與のもの金八萬五千九百四拾九圓七錢○事業補助に屬するもの金壹萬六千七百拾參圓九錢○敎育に屬するもの金壹萬貳千百九圓九拾六錢△又各支部支出の援護金は金六萬五千參百四拾七圓八錢にして之を大別すれば○個人現金贈與のもの金五萬貳千九百四拾八圓四拾參錢此內金九千八百拾四圓は臺灣に於て生蕃討伐に從事し戰死せし遺族に贈與したるものにして臺灣支部の支出に屬す○事業補助其他の支出に屬するもの金壹萬貳千參百九拾八圓六拾五錢なり以上の金額を合計すれば金拾八萬百拾九圓參拾錢にして明治三十四年本會創立以後此種に屬する總支出額は金八拾五萬參千八百拾九圓なり

○御染筆下賜　總裁殿下より御染筆櫻花滿開の繪畫を本會創立十年記念として本會へ賜はりたり

○慰問袋寄贈　本會首唱となり臺灣生蕃討伐隊へ寄贈の目的を以て各支部へ慰問袋募集を依賴せし結果左の如く大多數を得たり依て悉く臺灣支部長の手を經て該討伐隊へ寄贈せり

一慰問袋貳千七百八拾八袋（壹袋の實價貳拾五錢乃至壹圓）

一慰問袋料金、金八千九百五拾八圓參拾六錢

○二月七日　本會主唱者故正七位奧村五百子氏四周忌法要を淺草本願寺に於て執行せり

○四月二十日　六號水雷艇乘組員佐久間大尉以下の遭難に對し弔詞を發し弔慰金を贈呈せり

○五月六日　靖國神社臨時祭執行に付參拜遺族接待所を本會本部に設け來集の遺族十六名へ茶菓を饗し記念として扇子並に總裁殿下御染筆複寫を贈與せり

○十月三十一日　總裁殿下並に名譽會員伏見若宮妃梨本宮妃兩殿下の台臨を仰ぎ觀光の爲め來朝せし朝鮮伯爵夫人李鉉卿（本會朝鮮委員本部評議員）の一行を華族會館へ招待し懇親の爲め午餐會を開催せり

○十一月二十五日　會長子爵夫人岡部延子氏は副會長及評議員八名と共に東京癈兵院に到り在院癈兵を慰問せり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治四十三年度會計
決算報告

○基本金之部

一金七拾参萬九千九百七拾七圓五拾壹錢参厘　四十二年度ヨリ越高
一金参百四圓五拾錢　寄附金
一金拾六圓九拾壹錢　賛助金歩合
一金拾四萬七千五百五拾七圓拾参錢　會費剰餘金繰入
計金八拾八萬七千八百五拾六圓五錢参厘　四十四年度ヘ越高

○固定資産之部

一金四萬貳千八百六拾八圓五拾六錢　四十二年度ヨリ繰越ノ所有家屋什器及貸與金
一金壹千圓　沖縄支部ヘ貸與
計金四萬参千八百六拾八圓五拾六錢
内
金五百圓　大阪支部ヨリ貸與金ノ内返納高
差引金四萬参千参百六拾八圓五拾六錢　四十四年度ヘ越高

用途指定寄付之部

一金四拾圓　四十二年度ヨリ越高其儘四十四年度ヘ繰越

○收支勘定之部

收入之部

一金貳拾萬千百九圓四拾五錢八厘　四十二年度ヨリ越高
一金貳拾萬八百六拾九圓四拾貳錢八厘　會費歩合收納高
此内譯
金拾九萬九千八百四圓九拾壹錢八厘　各支部納金別表ノ通
金千拾四圓五拾壹錢　朝鮮本部其他委員部及直納
金五拾圓　過年度收入
一金五萬九百九拾圓五拾参錢参厘　雜收入
此内譯
金壹萬九千参百貳拾六圓五錢　預金利子
金参萬千[illegible]圓参拾貳錢参厘　債券利子
金七拾圓四拾壹錢　徽章再渡代
金五百八拾八圓七拾五錢　雜入
一金五百圓　貸費戻入
合計金四拾五萬参千四百六拾九圓四拾壹錢九厘　收入總額

支出之部

一金六千七百九拾参圓貳拾六錢　事務費
此内譯
金四千六百参拾貳圓七拾壹錢　諸給
金八百九拾貳圓六拾貳錢　借地料
金百拾参圓拾錢　辨當料
金貳百四拾九圓六拾五錢　旅費
金九拾七圓五拾貳錢五厘　筆紙墨費
金貳百四拾貳圓八拾参錢　郵便電信費
金六拾五圓四拾錢　器具費
金六拾五圓四拾八錢　車代
金九拾八圓貳拾九錢　營繕費
金参百参拾五圓六拾五錢五厘　諸雜費
一金貳萬千参百四拾六圓八拾錢九厘　事業費
此内譯
金千百八拾七圓四拾九錢五厘　印刷費
金四百七拾九圓拾六錢　徽章製作費
金七千六拾貳圓九拾貳錢四厘　總會費
金貳千九百貳拾七圓五拾六錢　支部總會臨場費
金貳千百七拾壹圓九拾錢　擴張諸費
金七百七拾壹圓九拾七錢　接待費
金六千八百八拾八圓八拾六錢　慰勞贈與
金参百七拾七圓八拾参錢　運送費
金貳百七拾九圓拾壹錢　雜費
一金拾壹萬四千七百七拾貳圓貳拾貳錢　救護費
此内譯
金七萬七千参百九拾六圓　定期救護金
金五千六百五拾八圓七錢　臨時救護金
金貳千八百九拾五圓　特別救護金
金壹萬貳千百九圓九拾六錢　救養所費
金壹萬六千七百拾参圓拾九錢　事業補助費
合計金拾四萬貳千九百拾貳圓貳拾八錢九厘　支出總額
外ニ
金壹千圓　沖縄支部ヘ貸與金固定資産ヘ繰入
金拾四萬七千五百五拾七圓拾参錢　剰餘金ノ内基本金ヘ繰入
總計金貳拾九萬千四百六拾九圓四拾壹錢九厘
差引金拾六萬貳千圓　四十四年度ヘ越高

明治四十三年度末
資産負債表

負債之部（貸方）

一金八拾八萬七千八百五拾六圓五錢参厘　基本金
一金四萬参千参百六拾八圓五拾六錢　固定資産
一金四拾圓　用途指定寄付金
一金拾六萬貳千圓　收支勘定剰餘金
合計金百九萬参千貳百六拾四圓六拾壹錢参厘

資産之部

一金五拾七萬千五百四拾参圓拾錢　公債證書
但此額面五分利公債五拾七萬八千貳百貳拾五圓四分利公債拾萬圓
一金拾圓　貯蓄債券
一金参拾八萬六千圓　銀行定期預金
此内譯
金五萬圓　森村銀行
金四萬圓　十五銀行
金六萬千圓　日本興業銀行
金五萬圓　第三銀行
金貳萬圓　第一銀行
金参萬圓　浪速銀行
金四萬五千圓　加島銀行
金九萬圓　日本勸業銀行
一金七萬四千九百八拾七圓八拾八錢　銀行當座預金
此内譯
金壹萬八千四百圓参拾八錢　森村銀行
金八拾八圓八拾貳錢　十五銀行
金壹萬六千拾八圓八錢　日本興業銀行
金貳萬四百六拾四圓六拾六錢　第三銀行
金参百拾九圓四拾壹錢　第一銀行
金壹萬九千六百九拾六圓五拾参錢　加島銀行
一金壹萬五千九百五拾圓　各支部貸與金
一金貳萬参千七百貳拾四圓九拾四錢　所有家屋
一金参千六百九拾参圓六拾壹錢　備附什器
一金壹萬七千参百五拾圓　四十四年度經費繰替金
一金五圓七錢参厘　現金
合計金百九萬参千貳百六拾四圓六拾壹錢参厘

右之通候也
明治四十四年三月三十一日
愛國婦人會長子爵夫人　岡部坻子
副會長伯爵夫人　阿部篤子
理事公爵母堂　近衛貞子
同　同　公爵夫人　一條悦子
同　同　公爵夫人　大山捨松
同　同　公爵母堂　毛利安子
同　同　侯爵夫人　鍋島榮子
同　同　男爵夫人　濱尾作子
同　同　棚橋絢子
同　同　三輪田眞佐子

右監査ヲ遂ケ相違ナキ事ヲ證ス
愛國婦人會監事伯爵夫人　伊東美津子
同　同　男爵夫人　三井苞子

明治四十三年度會費收納内譯書

支部名	會費歩合
臺灣	一一、三六五・二八〇
北海道	三、三一三・一七〇
東京	六、四一八・四一〇
京都	五、三六六・一二〇
大阪	五、一〇七・八〇〇
神奈川	五、一二八・一〇〇
兵庫	一二、九七四・四四〇
長崎	九五〇・三六〇
新潟	四、三二五・五四〇
埼玉	一、四九五・六四〇
群馬	二、五〇一・四六〇
千葉	四、五四九・四四〇
茨城	二、〇八一・六〇〇
栃木	一、六六三・五八〇
奈良	一、三二〇・三二〇
三重	四、七七〇・八六〇
愛知	一一、八二七・五六〇
靜岡	六、四二四・八四〇
山梨	七〇三・二八〇
滋賀	一、二九〇・五二〇
岐阜	二、一八九・四〇〇
長野	五、五九二・四二〇
宮城	二、〇四五・三一〇
福島	三、六〇〇・五九〇
岩手	一、八一二・〇〇〇
青森	三、〇六四・七六〇
山形	六、二九六・五六六
秋田	五、四八五・一〇〇
福井	二、二〇四・二二〇
石川	四、五六二・三七〇
富山	四、五二三・八〇〇
鳥取	一、八八八・二四〇
島根	三、三九五・五〇〇
岡山	六、一八九・四八〇
廣島	六、六四〇・八一〇
山口	八、一五三・六三〇
和歌山	一、二一四・一一〇
德島	九一九・六四〇
香川	四、一九〇・三四〇
愛媛	七、〇一一・七六〇
高知	八七一・〇六〇
福岡	一二、一九〇・一八〇
大分	一、三六七・三二〇
佐賀	一、三四七・五二〇
熊本	四、一七二・五二〇
宮崎	一、七七七・二八〇
鹿兒島	一、八二二・六四〇
沖繩	一、二六三・三〇〇
函館	四三二・七三二
計	一九九、八〇四・九一八

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN